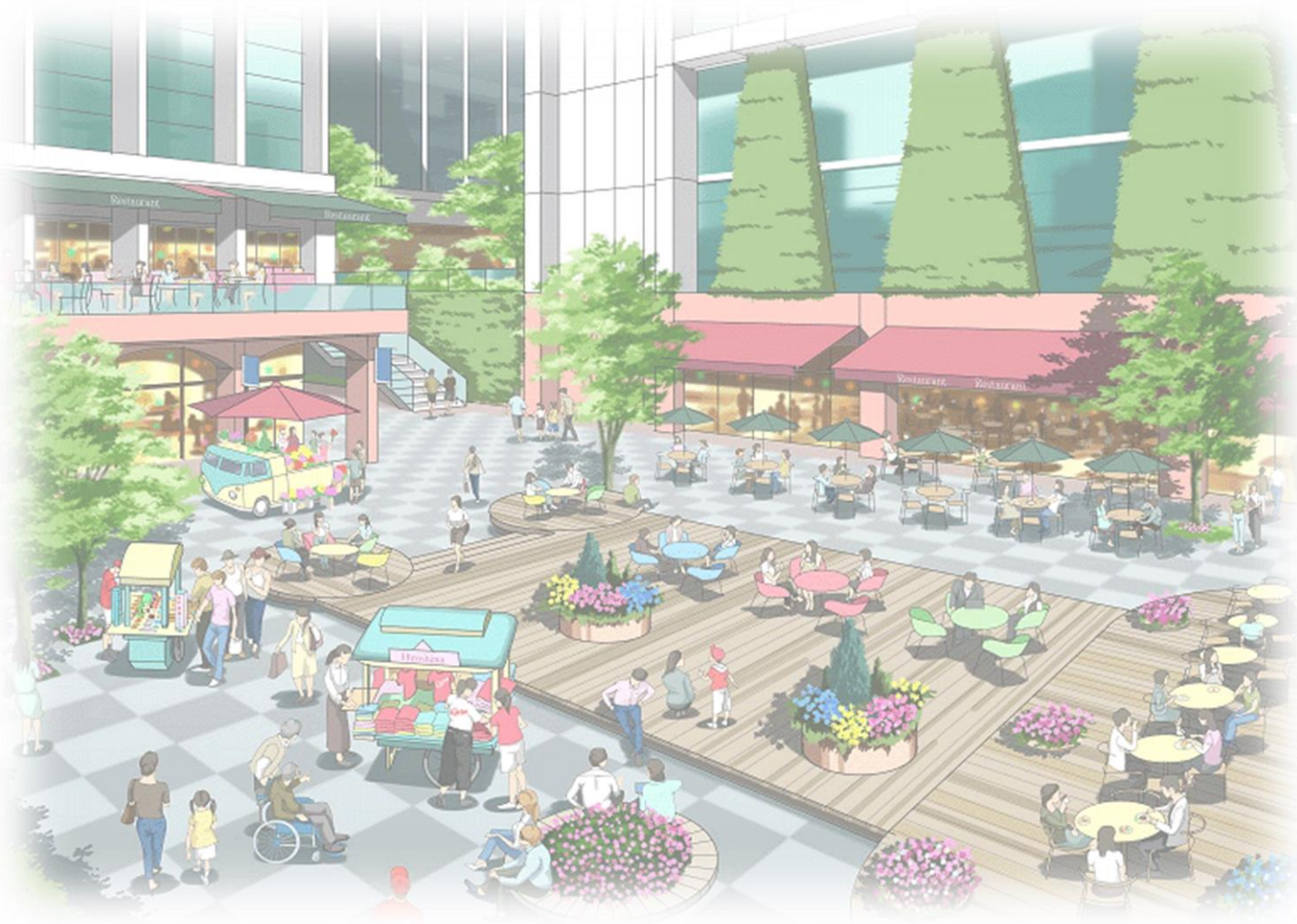


ひろしま都心活性化プラン

～ 誰もが集える、にぎわいと交流の都心^{まち}“ひろしま” ～



平成 29 年（2017 年）3 月

 広島県  広島市

目次

第1章 ひろしま都心活性化プランについて

1. 策定の背景・目的.....	1
2. 位置付け	2
3. 都心の役割	3
4. 目標年次	4
5. 対象範囲	4
6. 構成.....	5

第2章 都心の特性と課題

1. 都心におけるまちづくりの歩み	7
2. 都心の特性と課題.....	10

第3章 都心の将来像と目指す姿

1. 都心の将来像と目指す姿	19
2. ゾーンごとの将来イメージ.....	20
3. 都心回廊づくり	22

第4章 基本方針と施策の方向性

目指す姿に沿った基本方針と施策の方向性	25
基本方針 1：都心にふさわしく広島顔となる空間づくり	26
基本方針 2：国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり	28
基本方針 3：世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり	31
基本方針 4：安全・安心で快適な都心ライフを支える環境づくり	33

第5章 具体的な施策

- 1. 先導的な取組 35
- 2. 主な取組一覧 44

第6章 都心活性化の推進に向けて

- 1. 実現に向けて留意すべき事項 59

資料編

- 1. 都心活性化プランに関する懇談会..... 61
- 2. 都心のまちづくりに対する県民・市民の意見 63
- 3. 都心におけるまちづくりの歩み（都心のまちづくり年表） 69
- 4. 都心活性化に向けた行程表 71

第1章 ひろしま都心活性化プランについて

1 策定の背景・目的

人口減少や少子高齢化の急速な進行など社会経済情勢が大きく変化する中、持続的に都市の活力を維持・向上していくためには、市街地の拡大を抑制し、様々な都市機能を拠点に集積させる「集約型都市構造」への転換が求められています。

また、市域を越えた地域（広島広域都市圏、広島県域、中四国地方）全体が発展し、地方創生を実現していくためには、人口、産業、都市基盤など、あらゆる面で県内最大の集積地である広島市の都心の中核拠点性を更に向上させていく必要があります。

都心は、都市の活力とにぎわいを生み出す中心となる場所であり、広島市においては、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図ることにより、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めています。また、広島市は、広島県と連携して広島市の都心が市域・県域の発展をけん引するとともに、広島広域都市圏の発展に資するよう、都心の活性化に取り組んでいます。

こうした取組をより一層推進し、国内外の人々や企業などを惹きつける都心の魅力向上や質の高い都市環境の整備などに取り組み、都心を活性化するため、中長期的な視点で広島市の都心の将来像や目指す姿、その具体化に向けた施策等を示す「ひろしま都心活性化プラン」（以下「本プラン」という。）を策定します。

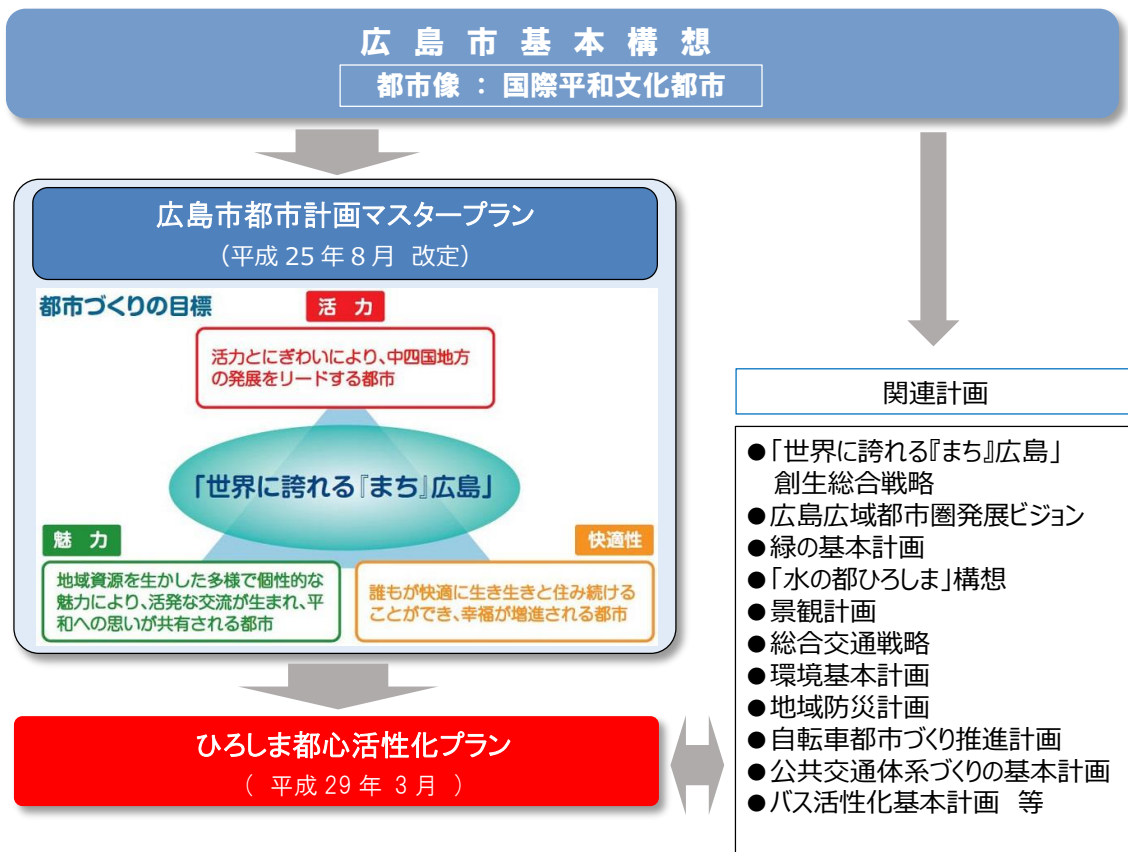


2 位置付け

本プランは、「広島市基本構想」や「広島市都市計画マスタープラン」を上位計画とした部門計画です。

広島市は、「広島市基本構想」において、「国際平和文化都市」を都市像として掲げ、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現、豊かな文化と人間性を育む都市づくり、世界に開かれた活力ある都市を目指しています。また、「広島市都市計画マスタープラン」において、“活力”、“魅力”、“快適性”という三つの視点で、都市づくりの目標を設定しています。

本プランは、これらの都市像や都市づくりの目標を踏まえた、都心のまちづくりの方向性として、都心の将来像・目指す姿及び具体的な施策を示すものです。なお、本プランは、「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略をはじめとする関連計画との整合を図ります。



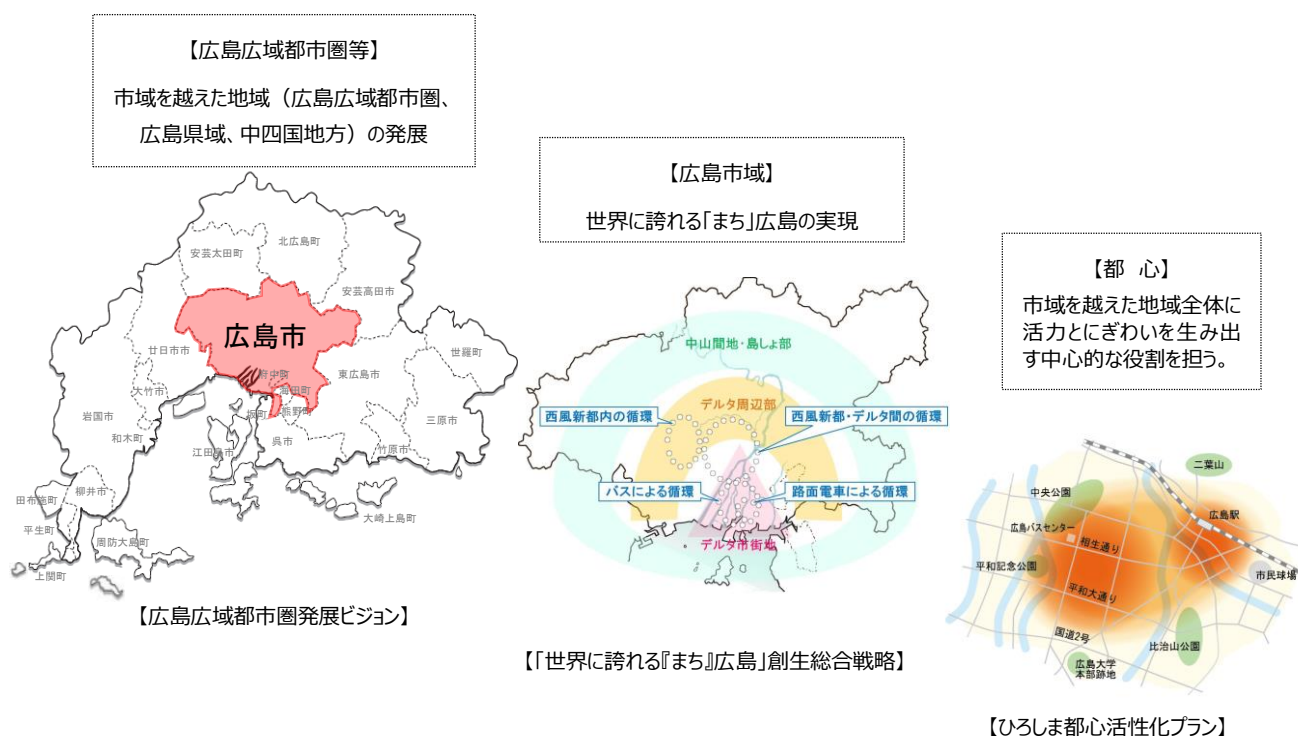
■ひろしま都心活性化プランの位置付け

3 都心の役割

昨今、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、都心からおおむね 60km の圏内にあって、経済面や生活面で深く結び付いている広島市と近隣 23 市町で構成する広島広域都市圏全体の持続的な発展を図るため、広島市は、圏域経済の活性化と圏域内人口 200 万人超の維持を目指す「200 万人広島都市圏構想」の実現に向け、誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”広島広域都市圏の形成に取り組んでいます。

市域においては、広島市の都市構造を踏まえ、「デルタ市街地」、「デルタ周辺部」、「中山間地・島しょ部」という三つのエリアを設定し、具体的な活性化策を推進するとともに、ヒト・モノ・カネ・情報の好循環を生むための“公共交通を中心とした四つの循環”（「バスによる循環」、「路面電車による循環」、「西風新都内の循環」、「西風新都・デルタ間の循環」）の形成等、「世界に誇れる『まち』広島」の実現に向けた取組を進めています。

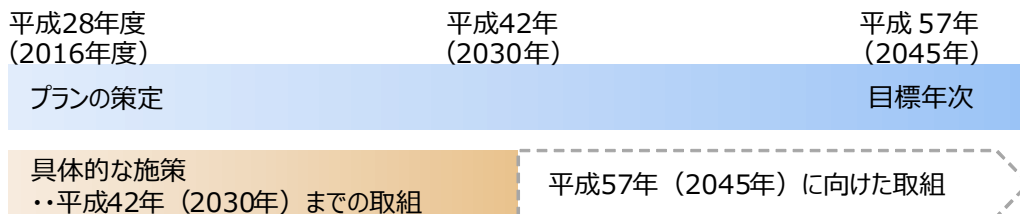
こうしたことを踏まえ、「デルタ市街地」に位置する都心は、中四国地方の中核として、引き続き、市民はもとより、国内外から多くの人を惹きつけ、市域を越えた地域全体に活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担っていく必要があります。



4 目標年次

本プランでは、被爆 100 周年（平成 57 年（2045 年））を見据えて、都心の将来像や目指す姿を描きます。

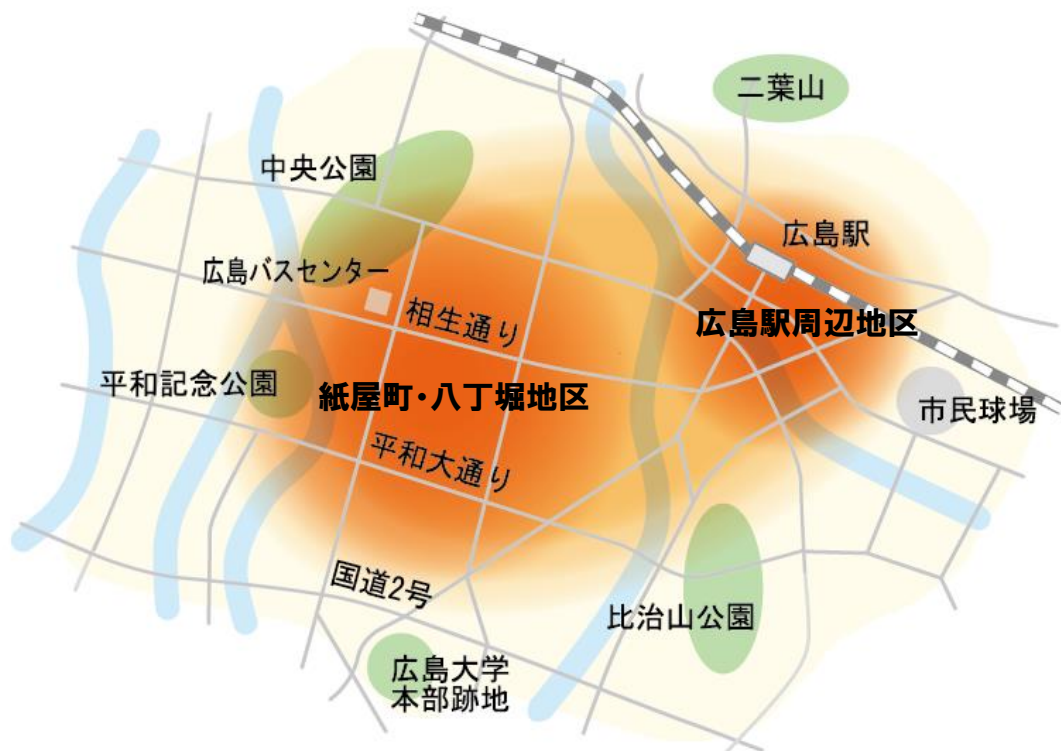
また、その具体化に向けた施策については、広島市都市計画マスタープランの目標年次である平成 42 年（2030 年）に向けた取組とします。



■ひろしま都心活性化プランの目標年次

5 対象範囲

本プランの対象範囲は、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を東西の核とする「楕円形の都心」とします。



■「楕円形の都心」のイメージ

(資料：広島市都市計画マスタープラン)

6 構成

本プランは、都心の活性化に向けた中長期的なまちづくりを進めていくために、共有すべき広島市の都心の「将来像」や目標となる「目指す姿」、その実現に向けた施策の考え方である「基本方針と施策の方向性」と「具体的な施策」等により構成します。

ひろしま都心活性化プランの構成

ひろしま都心活性化プランについて（第1章）

本プランの背景、目的、位置付け、目標年次、対象範囲等を示します。

都心の特性と課題（第2章）

活性化を考える上で前提となる、これまでのまちづくりの歩みと都心の特性・課題を示します。

都心の将来像と目指す姿（第3章）

被爆100周年に向けて、都心のまちづくりの理念となる都心の将来像と目指す姿やゾーンごとの将来イメージ等を示します。

基本方針と施策の方向性（第4章）

都心の将来像や目指す姿の実現に向けた施策の考え方を示します。

具体的な施策（第5章）

基本方針と施策の方向性を踏まえ、都心の将来像や目指す姿の実現に向けた具体的な施策を示します。

都心活性化の推進に向けて（第6章）

各取組を推進していくための市民、企業、行政の役割等についての考え方を示します。

第2章 都心の特性と課題

1 都心におけるまちづくりの歩み

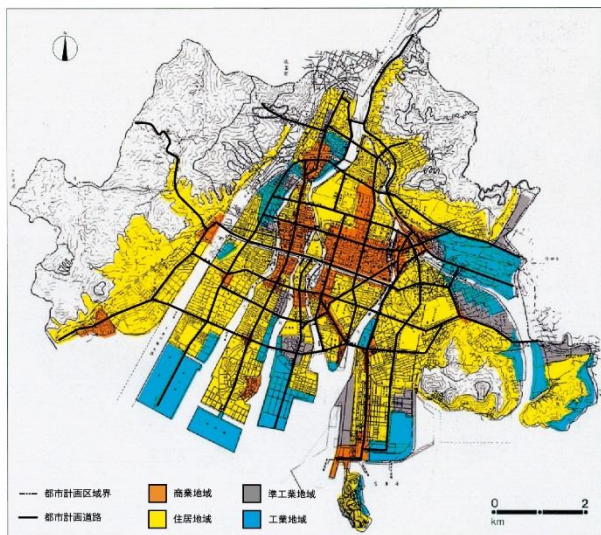
これまで、広島市の都心については、広島市基本計画や広島市都市計画マスタープランなどを踏まえ、地域地区（用途地域・特定街区等）、都市施設（道路・公園等）及び地区計画などを定め、都市機能の充実・強化を図るとともに、都心居住の推進や水の都ひろしまの特性を活かした都市環境の形成等の施策に取り組んできました。

こうした取組は、4つの時期（①戦後復興期、②高度経済成長期から政令指定都市移行期、③広島アジア競技大会開催を契機とした時期、④近年）に大別することができます。また、場所による変遷で見ると、戦後、広島市の都心は、主に紙屋町・八丁堀地区を中心に、都市機能が充実・強化され、広島アジア競技大会後、広島駅周辺地区において、広島駅南口、若草町地区及び二葉の里地区の再開発、広島市民球場の建設が進められ、都市機能の充実・強化が図られています。

	昭和 20 年	昭和 40 年頃 (被爆 20 周年)	昭和 60 年頃 (被爆 40 周年)	平成 7 年頃 (被爆 50 周年)	現在 (被爆 70 周年)
時期	戦後復興期	高度経済成長期から 政令指定都市移行期	広島アジア競技大会 開催を契機とした時期	近年	
時代背景	戦災復興	経済成長 市域の拡張	バブル景気～崩壊	低成長時代 少子高齢化	
取組のテーマ	・都市基盤の整備 (道路、公園、下水道等)	・都市機能の充実・強化 ・良好な都市環境の形成	・広域的な都市機能の 充実・強化 ・文化・スポーツ施設の 充実	・市街地の再開発 ・都心居住の推進	
主な取組	・広島平和記念都市建設計画の策定 ・復興土地区画整理事業 ・平和記念公園の整備 ・河岸緑地の整備 等	・百貨店などの商業施設の建設 ・基町地区再開発事業 ・広島民衆駅、広島バスセンター等の交通施設の整備 ・中央公園の整備 ・河岸緑地の整備 ・広島市都市美計画の策定 等	・NTT クレド基町ビルの建設 ・広島国際会議場の建設 ・広島県立総合体育館の建設 ・広島県立美術館の建設 ・新交通システム「アストラムライン」の整備 ・河岸緑地の整備 等	・広島駅周辺の再開発 ・広島市民球場「マツダスタジアム」の建設 ・水の都ひろしま構想の策定 ・水辺のオープンカフェの設置 ・都市型住宅の供給 ・河岸緑地の整備 ・広島市景観計画の策定 等	

（１）戦後復興期（昭和 20 年～昭和 40 年頃）

この時期には、広島平和記念都市建設計画に基づき、道路、公園、下水道などの都市基盤が整備されて復興が進められ、広島平和記念資料館、旧広島市民球場、広島県庁舎本館等が整備されました。



■広島平和記念都市建設計画（昭和 27 年）



■平和記念公園



■旧広島市民球場

（２）高度経済成長期から政令指定都市移行期（昭和 40 年頃～昭和 60 年頃）

高度経済成長期に入り、鉄道やバスターミナルなどの交通施設、百貨店などの商業施設などが整備されて様々な都市機能が充実・強化されるとともに、基町地区再開発事業や河岸緑地の整備、都市美計画の策定や景観協議制度の創設等、良好な都市環境形成に向けた取組が行われました。



■基町アパートと中央公園



■河岸緑地

（３）広島アジア競技大会を契機とした時期（昭和 60 年頃～平成 7 年頃）

この時期には、平成 6 年の広島アジア競技大会の開催を契機として、戦後に整備された施設の更新、宿泊施設やホール・会議場の整備、新交通システムの整備等が行われ、都心が大きく変貌しました。



■ 広島県立総合体育館と N T T クレド基町ビル



■ アストラムラインの開業

（４）近年～現在（平成 7 年頃～平成 28 年）

近年は、低成長時代に入ったものの、戦後の老朽化した建物の更新、宿泊施設の整備、都市型住宅の供給、交通ネットワークの強化、景観条例に基づく都市景観の形成等、各種都市機能の充実・強化や良好な都市環境形成の取組が行われています。



■ 水辺のオープンカフェ



■ 広島市民球場（マツダスタジアム）



■ 広島駅南口 B・C ブロック市街地再開発事業

2 都心の特性と課題

(1) 業務・商業

広島市の都心には、企業の本社・支社、官公庁施設等の業務機能が集積しており、特に、紙屋町・八丁堀地区は広島市を代表するオフィス街となっています。

オフィスの空室率は平成 23 年以降低下し、需給均衡の目安とされる 5%を割り込んでおり、オフィス需要は高まっていますが、ここ数年はオフィスの新規供給（延床面積 1,000 坪以上）が進んでいません。また、更新時期を迎える建築物が多いものの、更新はあまり行われていません。



■ 多様な企業が集積する相生通り

商業機能は主に、紙屋町地区、八丁堀地区、広島駅周辺地区の 3 地区を中心に集積しており、コンパクトなエリアに、商業施設、飲食施設等の様々な施設が立地しています。

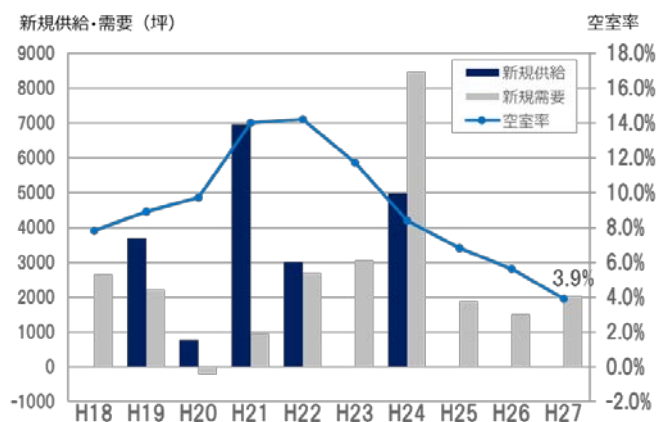
近年、周辺部への大規模商業施設の立地等により、紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区の商業施設の利用は減少しましたが、一方で、都心には中四国地方で最大の通行量を誇る商店街や、陸の玄関である広島駅などがあり、その個性、魅力を発揮することで、より広域的な集客が可能となるポテンシャルを有しています。



■ 本通り商店街

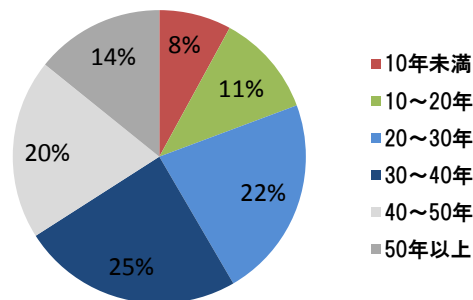


■ 中四国地方最大の業務・商業集積地である広島市の都心



■ オフィス空室率・新規需要・新規供給

※延床面積 1,000 坪以上で新耐震基準に準拠したビルを対象に調査したもの
(資料提供：CBRE) (平成 27 年は 9 月時点の数値)



■ 都心部における建物の築年数の割合

(資料：平成 26 年度広島市都心部実態調査(不動産登記事項証明書より作成))

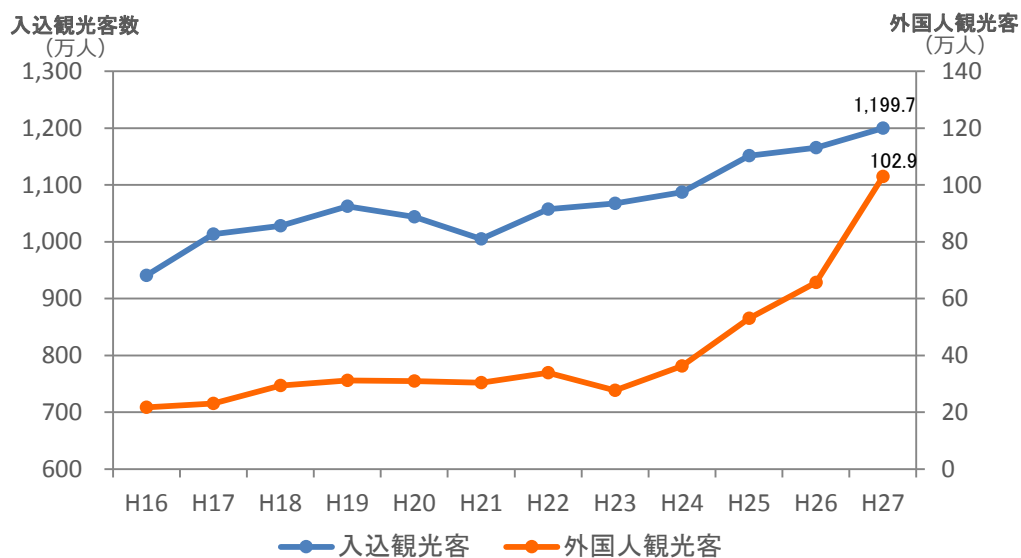
都心の役割を担うために取り組むべき課題 1

更新時期を迎える建築物の建替えを促進するとともに、建替えに合わせた土地の高度利用、業務・商業機能の充実・強化等により、都心にふさわしいにぎわいあふれる空間を創出する必要があります。

(2) 観光・水と緑等

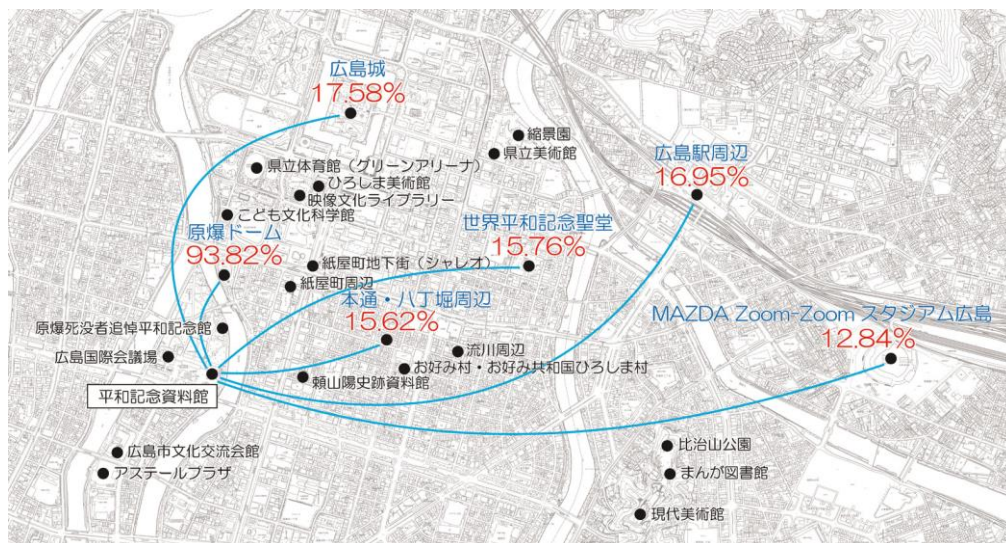
広島市の都心は、原爆ドーム（世界文化遺産）、平和記念資料館、広島城、美術館等の歴史的・文化的な観光資源が多数あり、国内外から多くの人を惹きつける魅力を備えています。近年、欧米豪からの旅行者を中心とした外国人観光客が増加するなど、広島市を訪れる観光客数は、平成 23 年から5年連続して過去最高を記録するなど、年々増加しています。

一方で、原爆ドーム・平和記念公園を中心に観光する観光客が多く、広島城など他の観光資源を十分に活用できていない状況が見受けられます。



■ 来広観光客数の推移

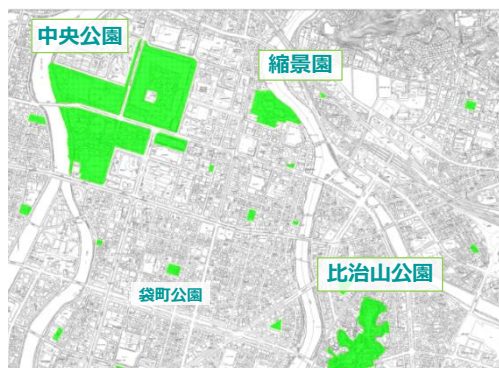
(資料：広島市観光概況により作成)



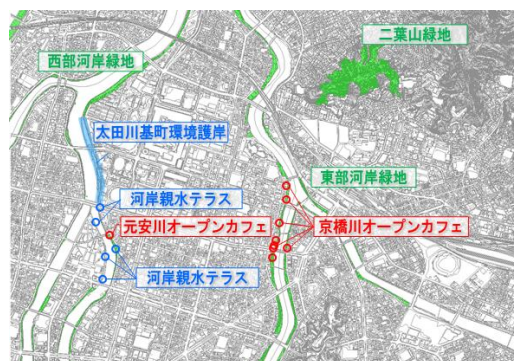
■ 平和記念資料館来館者の市内立ち寄り先

(資料：平和記念資料館における平成 26 年度来訪者アンケート調査により作成)

都心には、中央公園や比治山公園等の大規模な公園が立地しており、平和大通りの街路樹とともに、広島を象徴する都市に潤いをもたらす貴重な空間となっています。また、水辺においては、河岸緑地や環境護岸の整備、水辺のオープンカフェの設置など、広島ならではの魅力的で良好な都市環境が形成されています。



■公園の分布



■水辺の状況

広島市では昭和 56 年に「広島市都市美計画」を策定し、以後、建築物や屋外広告物等に係る景観協議制度などにより、美しい都市景観の形成に取り組んでおり、広島市への来訪者からも「きれいな街」といった声が多く挙げられています。中でも、平和記念公園とその周辺については、平成 18 年に策定した「平和記念施設保存・整備方針」において、「世界遺産である原爆ドームを頂点とした軸線上の見通しを大切にするとともに、原爆死没者慰霊碑を中心に、慰霊・鎮魂のための「聖域」としての静けさや雰囲気確保することなどを掲げ、平成 26 年度に策定した景観計画に基づき、平和都市広島を象徴する景観づくりを行っています。



■都心を潤す水と緑（京橋川・河岸緑地・比治山）

都心の役割を担うために取り組むべき課題 2

都心が、これまで以上に国内外の人を惹きつけ、広島の魅力と平和への思いを広げていく拠点となるよう、広島ならではの個性的で魅力ある空間を創出する必要があります。

(3) 道路・交通

都心における公共交通は、JRやアストラムライン、路面電車、路線バスによる多様なネットワークが形成されており、利便性の高い交通環境が整備されています。広島駅は、市内外から来訪者が集まる陸の玄関となっています。

また、モータリゼーションの進展により、都心では多くの駐車場が供給されている一方で、十分に駐輪場が整備されておらず、歩道上に自転車が放置されている箇所も多く、歩行者の安全な通行を妨げるだけでなく、都市景観の阻害要因になっているところもあります。

このほか、歩行空間における歩行者の安全や休憩施設についての改善を望む意見も多く挙がっています。



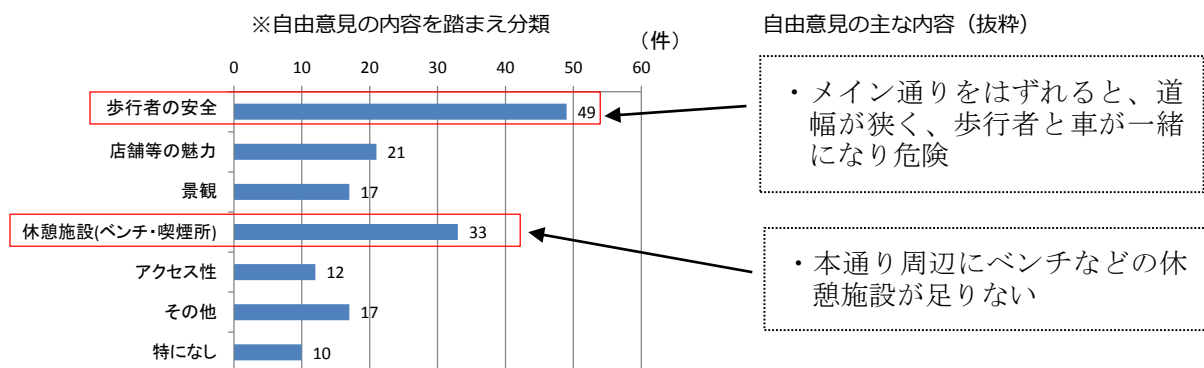
■路面電車（被爆電車とグリーンムーバーマックス）



■都心で見られる放置自転車



■路上に整備された駐輪場



■都心の通りで改善すべき点（都心の来訪者に対するアンケート【自由意見】）
 （資料：平成 26 年度広島市都心部実態調査（都心の来訪者に対するアンケート））

都心の役割を担うために取り組むべき課題③

世界中から訪れる人が、都心を安全で快適に回遊できるよう、歩きやすく移動しやすい交通環境を形成する必要があります。

(4) 安全・居住等

都心にある建築物の多くは、高度経済成長期の昭和 40 年代に建設されており、老朽化が進んでいる上に、木造建築物の多い地域も見受けられます。

また、合流式下水道で整備している中心市街地では、都市化の進展に伴う雨水浸透域の減少や局所的な集中豪雨により、浸水被害が発生しています。

さらに、都心は、社会経済活動が集中していることから、エネルギーの消費が大きく、多くの温室効果ガスを排出していることが懸念されます。



■ 建物の建築年数（街区単位）



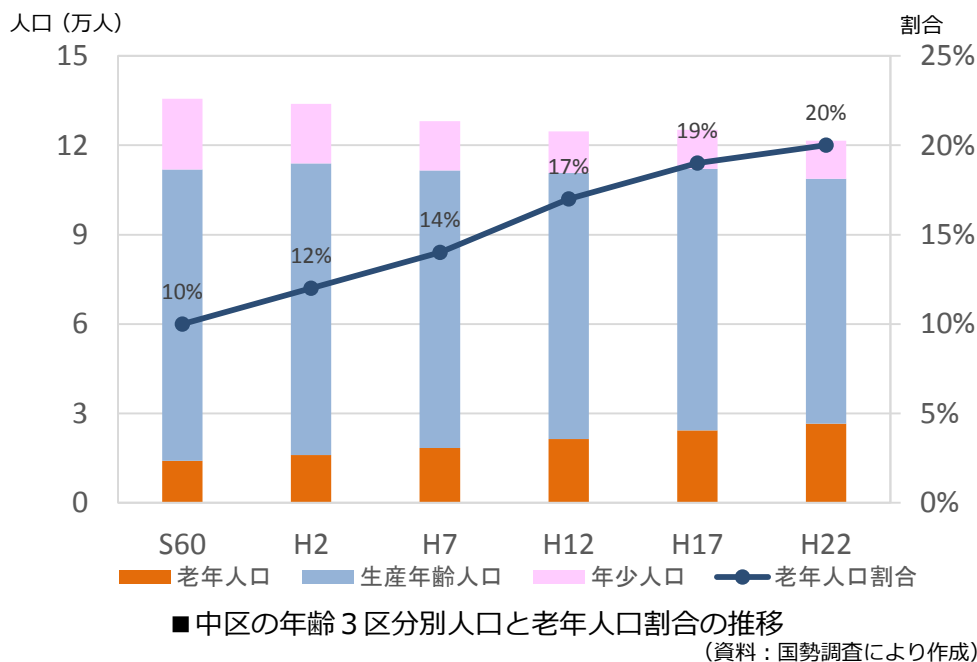
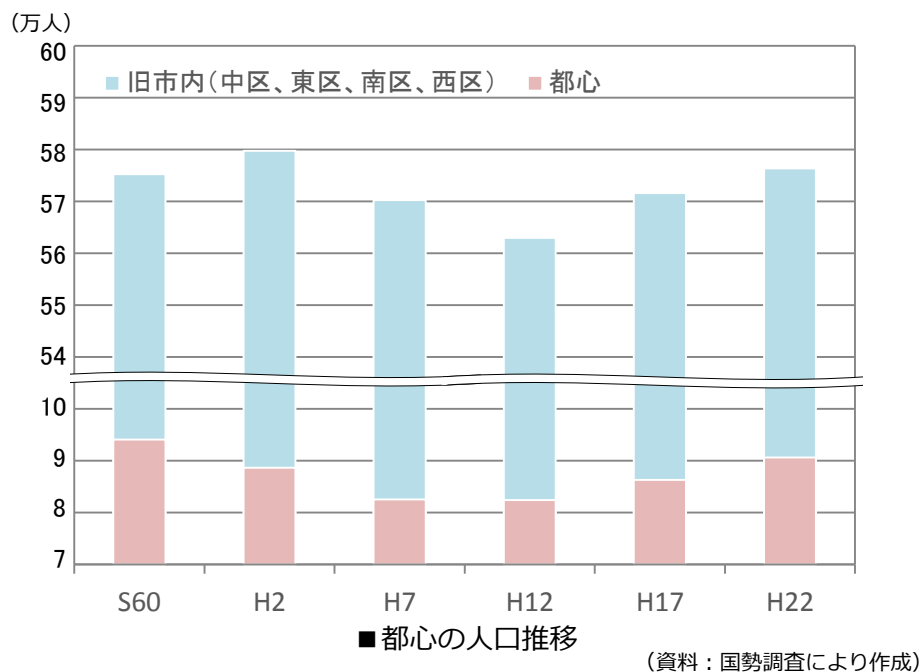
■ 木造建物の割合（街区単位）

（資料：平成 26 年度広島市都心部実態調査（不動産登記事項証明書より作成））



■ 中心市街地の浸水状況
（平成 26 年 7 月 7 日）

広島市は、これまで都心住居地域地区計画を定めるなど、地域の活力・コミュニティの維持や利便性の高さを生かすといった観点から、都心居住を推進しています。近年、都心の居住者は、利便性の高さや広島の特徴である豊かな水と緑に囲まれた住みやすさ等から、増加傾向にあるとともに、今後、高齢化の進展により、都心における高齢者の増加も予想されます。



都心の役割を担うために取り組むべき課題4

都心に暮らす多様な世代の人たちが、快適で穏やかに過ごせるよう、災害に強く、環境にも配慮した都市環境を形成する必要があります。

第3章 都心の将来像と目指す姿

1 都心の将来像と目指す姿

都心の特性と課題等を把握するとともに、広島市の上位計画や都心の役割を踏まえ、広島市の都心の特徴※である、「水と緑が豊かなまち」、「コンパクトなまち」及び「国際的な知名度」を考慮して、広島市の都心の将来像と目指す姿を以下のように掲げます。

※ 広島市の都心の特徴は、「都心のまちづくりひろしまワールドカフェ」での意見等から絞り込んだものです。

【都心の将来像】

誰もが集える、にぎわいと交流の都心“ひろしま”

～様々な人が平和と文化の架け橋となり、
国内外から人を惹きつけ、世界に広島を発信する～

【目指す姿】

- ① 広島の魅力が人を惹きつけ、にぎわいと交流を生み出す
- ② 市民や世界中からの来訪者も往来しやすく回遊できる
- ③ 豊かな水と緑に囲まれ、多様な世代が安全・安心で快適に生活できる

都心は、市民はもとより、国内外から多くの人を惹きつけ、市域を越えた地域全体の活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担っています。

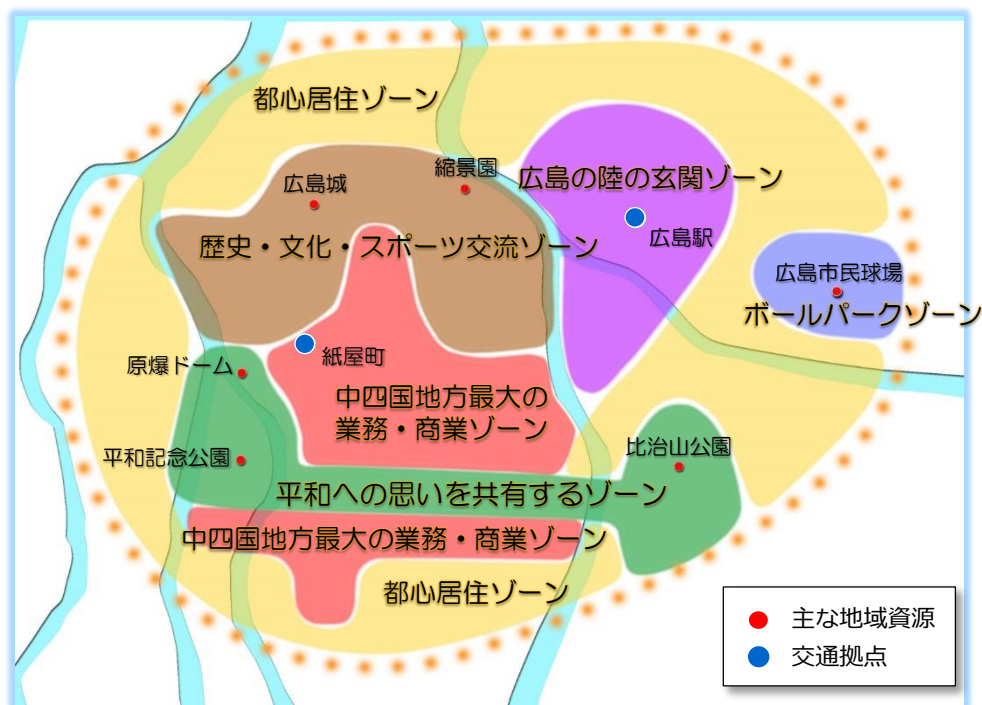
そうした広島市の都心が、特徴である水と緑の豊かさやコンパクトさを生かし、訪れる人にとっては、往来しやすく回遊できるまち、住む人、働く人、学ぶ人にとっては、安全・安心で快適に生活できるまちになるとともに、国際的な知名度を生かして、世界中から訪れる人と生活する人の誰もが集える、にぎわいと交流を生み出すまちとなることを将来像として掲げます。

さらに、都心集う、市民、企業、行政などの多様な人や主体が、自分たちのまちに郷土愛をもち、積極的にまちづくりへ関わり、広島市の平和と文化を伝える架け橋となって、持続的に国内外から人を惹きつけ、世界に広島市の魅力を発信していくことを目指します。

2 ゾーンごとの将来イメージ

広島市の都心が、「誰もが集える、にぎわいと交流の都心^{まち}」になるためには、地域の特性や役割に応じた取組を展開し、広島ならではの魅力をより一層高めていくことが必要になります。

このため、これまでのまちづくりの歩みや都心の現状を踏まえ、広島の都市のイメージとして定着している「平和」など、地域の特性をテーマとして、都心を6つのゾーンに区分し、各ゾーンの目指す将来イメージを描きます。



平和への思いを共有するゾーン



- ・特徴
世界遺産「原爆ドーム」や平和記念資料館を含む平和記念公園、平和大通り、比治山公園などの地域資源があり、平和と復興を感じることができます。
- ・将来イメージ
平和を願う世界中の人々が出会い、交流し、平和への思いを共有するとともに、被害から復興した広島を実感できる空間となっています。また、平和記念公園と比治山公園をつなぐ平和大通りの空間を活用し、新たなにぎわいを生み出しています。

広島陸の玄関ゾーン



- ・特徴
広島駅周辺地区においては、交通拠点である広島駅の利便性を生かして、再開発が進み、エリアマネジメントの体制づくりが進められています。
- ・将来イメージ
広島陸の玄関である広島駅の交通機能を最大限に生かして、広域的な商業・業務機能等が集積し、おもてなしの心が感じられる、新たなにぎわいと交流を生み出しています。

中四国地方最大の業務・商業ゾーン



・特徴

企業の本店・支店や国の機関が集積するとともに、広域的な商業・文化・飲食・娯楽機能等を有する、中四国地方最大の業務・商業ゾーンです。

・将来イメージ

広島広域都市圏や中四国地方の発展をけん引する、業務・商業・文化・飲食・娯楽機能等が充実・強化されるとともに、広島顔となる風格ある街並みや歩いて楽しい空間が形成され、絶え間なく、にぎわいと交流が生まれています。

歴史・文化・スポーツ交流ゾーン



・特徴

広島城、縮景園、西国街道などの歴史資源やひろしま美術館、広島県立美術館、広島県立総合体育館などの文化・スポーツ施設があり、中央公園、基町環境護岸や京橋川の河岸緑地など水と緑にふれることができます。

・将来イメージ

歴史・文化・スポーツ施設といった多くの地域資源を生かして、広島ならではの水と緑豊かな都心のオアシスが形成され、人々が集い、憩い、交流するにぎわいを創出しています。

ボールパークゾーン



・特徴

広島市民球場を核とし、国内外から人々が訪れ、周辺施設と一体となって、新たな広島の元気を生み出しています。

・将来イメージ

広島の新たなシンボルである広島市民球場を中心に、広域的な集客による、にぎわいを創出しています。

都心居住ゾーン



※イメージ

・特徴

都心の東西の核である、「広島駅周辺地区」及び「紙屋町・八丁堀地区」の周辺に位置し、高い生活利便性を享受できる居住環境です。

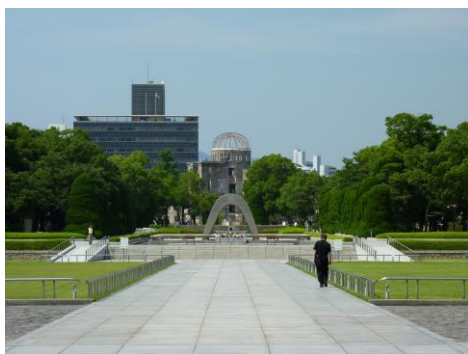
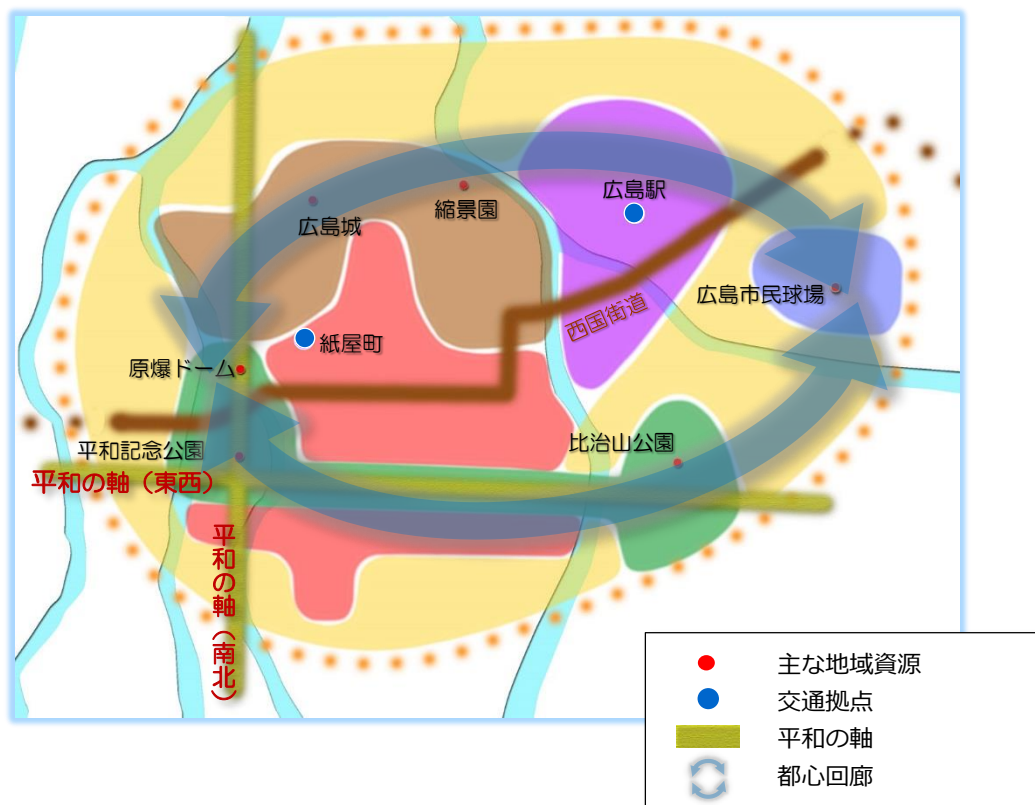
・将来イメージ

医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を有する生活利便性の高い施設が近接し、高齢者がひとりでも不自由なく安心して生活でき、子どもたちがのびのびと育つ環境が整い、様々な人が住みたいと思うまちになっています。

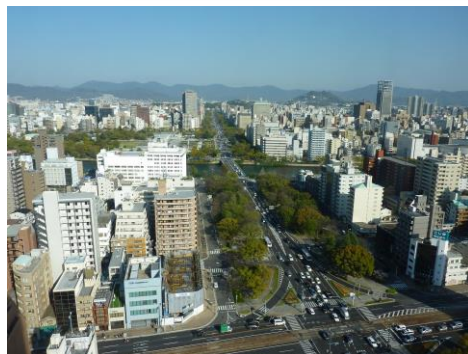
3 都心回廊づくり

広島市の都心が「誰もが集える、にぎわいと交流の都心^{まち}」になるためには、ゾーンごとの将来イメージを実現することに加え、各ゾーンがつながり、にぎわいと交流を都心全体に広げていくことが必要です。

このため、平和記念公園を設計した丹下健三氏らの構想に基づく「南北の軸」と、平和大通りによる「東西の軸」を平和の軸として、都心に存在する平和記念公園、広島城、広島市民球場、比治山公園などの地域資源^{めく}を巡る「都心回廊」という考え方の下、「人が中心となる回遊ネットワーク」、「おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク」の形成を目指します。



南北の軸
(平和記念資料館本館から原爆ドーム方向を望む)



東西の軸
(平和大通り)

（１）人が中心となる回遊ネットワーク

徒歩、自転車及び公共交通により、市民や世界中からの来訪者など誰もが安心して、楽しく移動できるよう、交通拠点である広島駅や紙屋町と各ゾーン、またはゾーン相互をつなぐ歩行者ネットワーク・自転車ネットワークの整備、公共交通ネットワークの充実・強化などにより、車依存社会から脱却し、人が中心となる回遊ネットワークを形成します。

将来イメージ

誰もがスムーズに回遊できるまち

分かりやすい案内サインや案内情報、ユニバーサルデザインに配慮した公共交通などにより、世界中からの来訪者をもてなし、誰もが迷うことなく円滑で快適に目的地に移動することができるまちになっています。



歩いて楽しい人中心のまち



市民や世界中からの来訪者が、自動車交通を気にすることなく自由に散策でき、食文化など広島ならではの魅力的な店舗が建ち並び、歩いて楽しい空間が形成されています。

歩きやすい歩行空間

歩道と車道の段差を小さくするとともに、低縁石やボラードの設置により歩行者の安全を確保するなど、安全で快適に回遊できる歩行環境が整備され、誰もが歩いて楽しく回遊できるようになっています。



誰もが快適にめぐることができるまち



誰でも手軽に利用できるレンタサイクルや自転車走行空間を整備するなど、市民だけでなく、世界中から訪れる来訪者も、観光施設などを快適にめぐることができるようになっています。

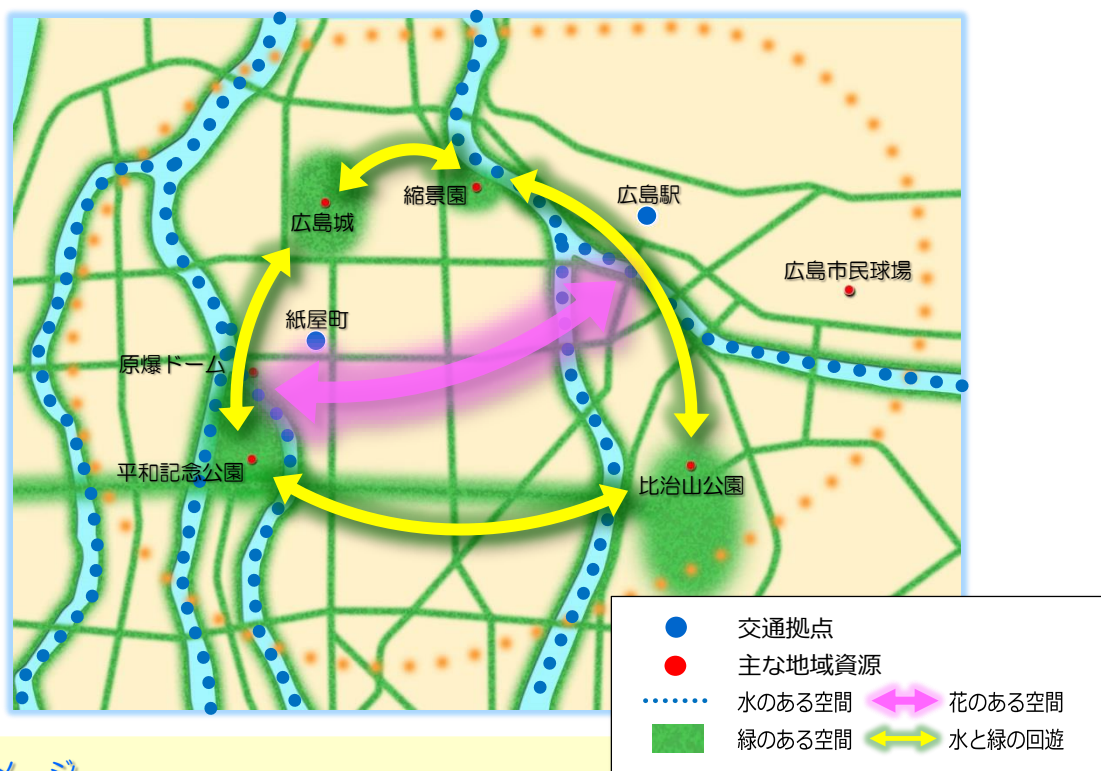
誰もが利用しやすい交通拠点



おもてなしの玄関である広島駅が、乗り継ぎしやすく、分かりやすい交通拠点となっており、世界中からの来訪者が、次の目的地まで安心して移動することができるようになっています。

（２）おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク

都心は、「市街地を流れる河川」、「平和大通りなど戦災復興により整備された道路」及び「河岸緑地・比治山公園などの公園緑地」といった、水と緑に囲まれ、恵まれた都市環境にあります。こうした特徴を生かして、河岸緑地・道路などの緑化、花による演出、水上交通の充実、水辺のライトアップなどにより、昼夜を通して、おもてなしを創出する、水・花・緑のネットワークを形成するとともに、音楽のあふれるまちづくりに取り組みます。



将来イメージ

水と緑にふれることができるまち

居住者やビジネスマンなど多様な人たちが、日常的に散策やリフレッシュの場として、水と緑に身近にふれ、潤いを感じることができるまちになっています。



リビングのような公園

都心の貴重なオープンスペースである公園等が、日常的に市民や観光客などが集い、交流できる場所となっています。



水の都ひろしまにふさわしい水辺



潤いとにぎわいを感じる環境が整うとともに、水上交通が充実し、水の都ひろしまならではの水辺空間が形成されています。

花と緑と音楽のあふれるまち

地域、企業、行政等のそれぞれが、郷土愛と来訪者へのおもてなしの気持ちをもち、周りを花や緑で飾るとともに、日常的に音楽を楽しむまちとなっています。



第4章 基本方針と施策の方向性

ここでは、都心の将来像と目指す姿の実現に向けた施策の考え方である基本方針と施策の方向性を、以下のとおり示します。

【目指す姿に沿った基本方針と施策の方向性】



基本方針1 都心にふさわしく広島顔となる空間づくり

都心には、官公庁施設、企業の本社・支社、商業施設等、中枢都市にふさわしい都市機能を有する施設が集積していますが、老朽化が進み、更新時期を迎える建築物も多く存在しています。また、狭隘な敷地が多く、土地が有効活用できていない状況であり、最近では、幹線道路沿いでありながら、低層階も含め全体が住居となっているマンションが建築されるなど、にぎわいが失われることが懸念されます。

こうした状況を踏まえ、引き続き、都心が活力とにぎわいを生み出す空間となるため、広島駅周辺地区及び紙屋町・八丁堀地区を中心に、更新時期を迎える建築物の建替えを促進するとともに、建替えに合わせた土地の高度利用、業務・商業機能の充実・強化等により、都心にふさわしいにぎわいあふれる空間の創出を図ります。

施策の方向性① 都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化

- 都心の新たな魅力を生み出し、中四国地方の発展をけん引する商業・ビジネス・文化芸術等の高次都市機能の一層の集積を図ります。
- 民間開発を誘導する支援策の充実を図るとともに、その開発に合わせ、敷地の共同化等により、人々が気軽に集い交流できるオープンスペースの創出を促進する等、民間活力を活用した都心空間のリニューアルを進めます。
- 市民、企業、行政等が連携・協働し、地域の多様性を生かしながら、良好な景観の形成を図ります。



■陸の玄関である広島駅周辺



■まちなかのオープンスペースによる
にぎわい創出のイメージ

☞先導的な取組 1 再開発を促進するための支援（35 ページ参照）

☞先導的な取組 2 官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用（35 ページ参照）

施策の方向性② 都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出

- 平和大通りなどの道路空間、中央公園をはじめとする緑の空間、都心を流れる川の水辺空間などの公共空間を積極的に活用して、市民、企業、行政等がオープンカフェやイベントを実施するなど、新たなにぎわいの創出を図ります。
- 市民や来訪者等、多くの人が歩く通りにある建築物の低層階に、物販、飲食等のにぎわい創出に寄与する店舗を誘導し、にぎわいの連続性の確保を図ります。



■ 公共空間を活用したイメージ（公園）



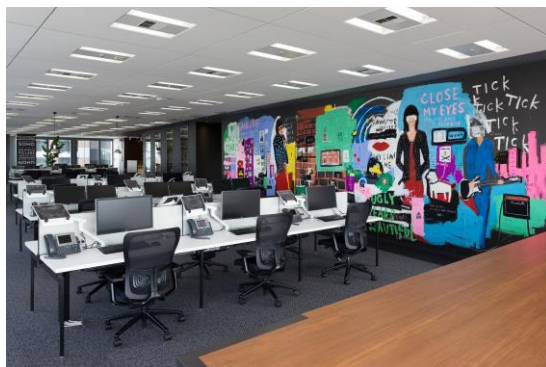
■ にぎわい空間が連続している通り

☞ 先導的な取組 3 都心の地区計画の見直し（36 ページ参照）

☞ 先導的な取組 4 公共空間を活用したにぎわいづくり（36 ページ参照）

施策の方向性③ 多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成

- 広島のものづくりの技術を生かすとともに、サービス産業をはじめとする成長分野でのビジネスの創業支援や企業の誘致・育成を図ります。
- 産学金官の強固なパートナーシップのもと、新しい事業が次々と生まれる環境やイノベーションの原動力となる多様な人材の集積を推進するための常設の場「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」等により、多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成を図ります。
- 高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材等、イノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積を推進します。



■ 魅力的なビジネス環境（イメージ）

☞ 先導的な取組 5 イノベーション・エコシステム*の構築（37 ページ参照）

* 産学金官など多様なつながりの中で、新たなアイデアや価値が創造され、新しい事業が次々と生まれる事業環境

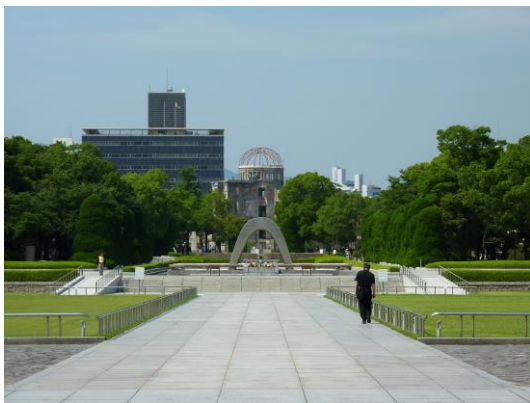
基本方針2 国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり

広島市には、毎年多くの観光客が訪れています。特に、世界遺産「原爆ドーム」を含む平和記念公園は、公園内の平和記念資料館に年間約150万人の人が訪れ、世界に平和を発信していくことがふさわしい空間となっています。一方で、市内には多くの観光資源があるにもかかわらず、平和記念資料館を訪れた人は他の施設をあまり回遊していないという現状があります。

こうした状況を踏まえ、これまで以上に、都心が国内外の人を惹きつけ、広島の魅力と平和への思いを広げていく拠点となるため、広島ならではの個性的で魅力ある空間の創出を図ります。

施策の方向性④ 多様な人々が交流し、平和への思いが共有できる空間づくり

- より多くの人々が、原爆ドームをはじめとする被爆建物等を訪れ、被爆の実相に触れるとともに、復興した都市の力強さを実感し、平和への思いを共有することができるよう、世界中の人々を迎える魅力的な環境づくりを推進します。
- 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を世界に広げるため、被爆地広島での体験や交流を行う機会の提供や人材育成を進めます。



■ 平和記念公園から見た原爆ドームの背景



■ 比治山公園から平和大通りを望む

☞ 先導的な取組 6 比治山公園「平和の丘」構想の推進（38ページ参照）

☞ 先導的な取組 7 平和記念公園における環境整備（38ページ参照）

施策の方向性⑤ 観光都市広島に向けた、地域資源と都心空間の魅力向上

- 広島城、縮景園、西国街道、地域性豊かな文化イベント等の地域資源を活用し、国内外からの来訪者に広島歴史・文化を感じてもらおうとともに、その価値や魅力を将来世代に継承させていきます。
- 広島が誇る3大プロ（広島交響楽団、サンフレッチェ広島、広島東洋カープ）や企業スポーツチームといった地域資源を生かし、豊かな文化を醸成し、まちの活力を創造します。
- 水辺のオープンカフェ、コンサート等の実施による潤いとにぎわいのある空間の創出など、「水の都ひろしま」づくりを推進します。
- 観光案内所の充実や分かりやすい案内・誘導サイン、使いやすく快適な公衆トイレの整備等により、来訪者の受入環境の向上を図ります。
- 市民の誰もが、来訪者に対して、広島の魅力や平和の心を伝えることができ、来訪者の満足度を高めるとともに新しい交流を生み出す、広島ならではの「おもてなし」を推進します。
- 都心内の商業施設が連携した販促イベントの開催や商店街の活性化など、中四国地方を代表する商業集積地としての魅力をより一層高めます。
- 国内外でのプロモーション活動の強化や地域特性を演出するユニークベニュー等の充実を図り、国際会議等MICEの誘致を進めます。



■ 広島の歴史的資源（広島城）



■ 地域特性を生かしたにぎわいイメージ



■ 水の都ひろしまにふさわしい水辺

☞ 先導的な取組 8 外国人旅行者へのホスピタリティの向上（39 ページ参照）

☞ 先導的な取組 9 美しい川づくり（39 ページ参照）

施策の方向性⑥ 花と緑と音楽のあふれる美しいまちづくり

- 「陸の玄関」である広島駅周辺地区、紙屋町・八丁堀地区など、「おもてなしの観光」の重点地区を中心に、まちの様々な場所で花や緑を育むことを通じて、市民一人一人が自ら来訪者をもてなそうとする気運を醸成するとともに、全国都市緑化フェアの開催等、花と緑あふれるまちづくりを進めます。
- 音楽イベントの充実を図るなど、日常的に音楽を楽しめる場を作り、市民や来訪者が潤いと安らぎと癒しを実感できる美しいまちづくりを進めます。

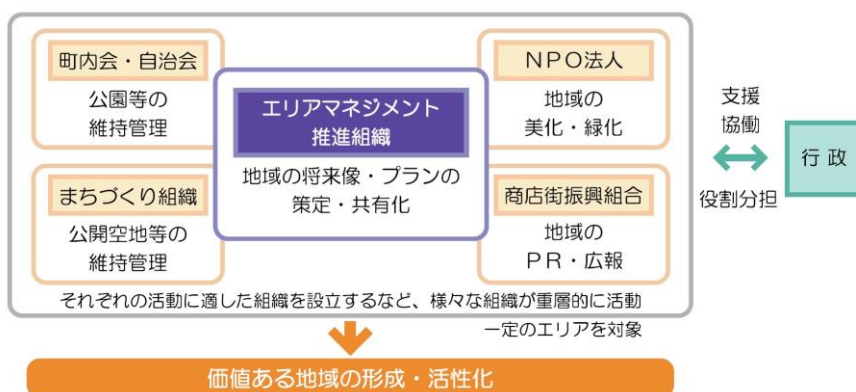


■花と緑と音楽のあふれるまちのイメージ

施策の方向性⑦ 市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり

- 市民や企業等、多様な主体によるまちづくり活動への支援を行うなど、市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくりを進めます。
- まちのルールづくりや施設の管理運営などハード・ソフトの両面に渡り、良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための活動を地域が主体的に行うエリアマネジメントを促進するとともに、複数の組織の連携を図ります。

エリアマネジメントのイメージ



■エリアマネジメントのイメージ

資料：国土交通省

➡ 先導的な取組 10 エリアマネジメント活動の支援（39 ページ参照）

基本方針3 世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり

都心の回遊性を向上し、にぎわいを創出するためには、安全で快適な歩行環境を整備するとともに、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区へのアクセス性を向上させることが重要です。広島市においては、都心へのアクセスは路面電車やバスなどの公共交通の利用が多く、徒歩や二輪の利用が増えており、また、近年、駐車場の余剰傾向が見られるなど、需要と附置義務基準の乖離が生じている可能性があります。

こうした状況を踏まえ、世界中から訪れる人が、都心を安全で快適に回遊できるよう、歩きやすく移動しやすい交通環境の形成を図ります。

施策の方向性⑧ 歩行者や自転車を優先する交通環境の整備

- 安全で快適な歩行環境の整備などにより、市民や来訪者が楕円形の都心を歩いて楽しく回遊できる環境づくりを進めます。
- 自転車ネットワークの整備や駐輪場の整備などにより、自転車で快適に移動できる環境づくりを進めます。



■ 人に優しい道路のイメージ



■ 自転車走行空間の例



■ 民間路上駐輪場

☞ 先導的な取組 11 楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備（40 ページ参照）

☞ 先導的な取組 12 駐輪場・駐車場附置義務の見直し（41 ページ参照）

施策の方向性⑨ 都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備

- 都心周辺や郊外、さらには市域外から都心への公共交通ネットワークの充実・強化など、都心へのアクセス向上を図ります。
- 広島での生活や観光に欠かせない路面電車やバスの定時性・速達性を確保し、都心内を容易に移動できる環境づくりを進めます。
- 交通拠点である広島駅や紙屋町において、円滑な乗り継ぎができるよう、結節機能の強化や交通機関相互の連携強化など、利便性の向上を図ります。



■路面電車（1000 形）

☞先導的な取組 13 広島駅南口広場の再整備等（41 ページ参照）

施策の方向性⑩ ユニバーサルデザインの推進

- 歩道の拡幅や段差解消等のバリアフリー化、来訪者にも分かりやすい案内・誘導サインの設置等により、誰もが安心して移動できる環境づくりを進めます。
- 路面電車やバスへの低床車両の導入を図るとともに、交通結节点やバス停等における案内情報の充実など、分かりやすく使いやすい公共交通を目指します。



■分かりやすい案内・誘導サイン



■低床路面電車

基本方針4 安全・安心で快適な都心ライフを支える環境づくり

安全・安心の確保や良好な都市環境の形成は、持続可能なまちづくりを行うための基本となるものです。一方で、都心には、建築基準法の耐震基準を改正した昭和56年以前に建築された建築物が多く存在しており、建築物の耐震化を促進する必要があります。また、合流式下水道で整備している中心市街地では、都市化の進展に伴う雨水浸透域の減少や局所的な集中豪雨により、浸水被害が発生しています。さらに、広島市における温室効果ガス排出量は増加傾向にあり、特に、多くの人が集う都心においては、環境負荷の少ないまちづくりを進めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、都心に暮らす多様な世代の人たちが、快適で穏やかに過ごすことができるよう、災害に強く、環境にも配慮したまちづくりを進めます。

施策の方向性⑪ 災害に強いまちづくり

- 建築物の耐震性の向上、太田川デルタの低地部に位置する都心の浸水対策の推進等により、災害に強いまちづくりを進めます。
- 市民や企業等の防災意識の高揚に努めるとともに、自主防災体制づくりを推進し、継続的な地域防災力の向上を図ります。

- 先導的な取組 14 建築物の耐震性の向上（42 ページ参照）
- 先導的な取組 15 浸水対策の推進（42 ページ参照）
- 先導的な取組 16 防災まちづくりの推進（43 ページ参照）

施策の方向性⑫ 環境に配慮した低炭素なまちづくり

- 省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入促進等により、環境負荷の少ないまちづくりを進めます。
- 道路等のオープンスペースの緑化を推進するとともに、中央公園や平和記念公園、比治山公園、河岸緑地などにおいて、緑の適正な保全と育成に努め、「水」と「緑」のネットワークの形成を図ります。



- 先導的な取組 17 スマートコミュニティの推進（43 ページ参照）

施策の方向性⑬ 多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり

- 商業・業務など高次都市機能の集積や交通の利便性を生かし、多様なライフスタイルに応じた都心居住を進めるため、住宅と業務、商業などの機能が適正に調和した、居住と生活サービスの近接した居住環境の構築を図ります。



■広島駅周辺（二葉の里地区）の都市型住宅

- 地域コミュニティの活性化、高齢者の見守り活動や居場所づくりの推進、子どもの遊び場の充実などにより、高齢者、子育て世帯、若者など多様な世代が安心して暮らせる環境づくりを進めます。
- 建物内において、スロープや手すり、エレベーター、誰もが利用しやすいトイレの設置などのバリアフリー化に努め、全ての人が安全に安心して暮らせ、活動できる環境づくりを進めます。



■高齢者世帯やファミリー世帯など
多様な世帯が居住する住宅と高齢者向けサービス施設、子育て関連施設が入居する複合住宅
(京橋町地区第一種市街地再開発事業)



■冒険遊び場づくり（中央公園・もとまち自遊ひろば）



■施設のバリアフリー化（オストメイト対応トイレ）

第5章 具体的な施策

ここでは、基本方針と施策の方向性を踏まえ、都心の将来像や目指す姿の実現に向けた具体的な施策を示します。

このうち、都心の将来像と目指す姿の実現に大きく寄与するもので、先行して実施しているもの、又は早い時期に実施しようとするものを「先導的な取組」と位置付けて取り組んでいきます。

1 先導的な取組

(1)「都心にふさわしく広島顔となる空間づくり」

「都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化」に基づく先導的な取組

先導的な取組 1 再開発を促進するための支援

敷地の共同化や市街地再開発等によるまちづくりを行おうとする団体等からの相談に対し、アドバイザー等の専門家を派遣する制度を周知し、活用促進を図ります。

また、紙屋町・八丁堀地区など都心における建築物の建替え等を促進するため、土地利用制限の規制緩和や金融支援などが受けられる「都市再生緊急整備地域」制度活用などの検討を行います。

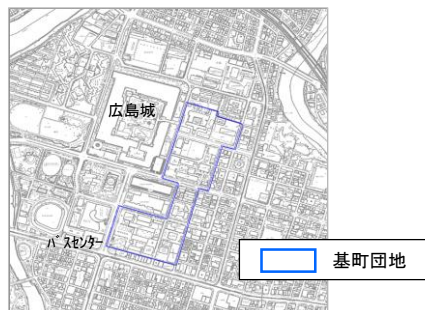


■ 都心空間のリニューアル

先導的な取組 2 官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用

広島市と国・県が連携し、官公庁街の土地利用の在り方を検討します。また、官民連携による公有地を活用した取組を検討します。

官公庁街の一部は、都市計画施設「一団地の官公庁施設」の制限（国家機関又は地方公共団体以外の建築物の建築制限）があることから、官公庁施設の更新にあたり、民間活力の活用が可能となるよう、必要に応じて、都市計画の見直しを行います。



■ 一団地の官公庁施設「基町団地」

「都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出」に基づく先導的な取組

先導的な取組 3 都心の地区計画の見直し

地区の特性に応じた用途や街並みへと誘導することにより、魅力とにぎわいのある都心空間の形成を図るため、都心の地区計画の在り方について分析・検討を行い、必要に応じて見直しを行います。



■ 統一感のある洗練された街並み



■ にぎわい空間の誘導

先導的な取組 4 公共空間を活用したにぎわいづくり

● 中央公園の在り方検討と旧広島市民球場跡地の活用

サッカースタジアムの整備に係る検討状況を見極めつつ、中央公園の在り方検討や旧広島市民球場跡地の活用に向けた取組を行います。

● 平和大通りのにぎわいづくり

ひろしまドリミネーションにあわせたオープンカフェの設置など、平和大通りを活用したにぎわいづくりを進めます。



■ 平和大通りのにぎわいづくり

● 紙屋町地下街「シャレオ」のにぎわいづくり

イベント等の実施や魅力的なイルミネーションの装飾等を行い、多くの人が回遊するにぎわいのある空間を創出します。

● 袋町公園でのオープンカフェの社会実験

公園内での常設のオープンカフェ実施に向け、官民が連携した社会実験の検討を行います。



■ 公園内のオープンカフェ
(東京都・上野恩賜公園)

「多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成」に基づく先導的な取組

先導的な取組 5 イノベーション・エコシステムの構築

多様な人材、資金、情報等が集積・結合する「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」を開設し、新たなビジネスや地域づくりのアイデアが生まれ、異業種間による新規事業や、ビジネスや地域づくりにおける新たなつながりなどの創出を促すとともに、起業や新事業創出等に向けた機運醸成に取り組み、産学官などが相互につながり、絶え間ないイノベーションが創出される環境（イノベーションエコシステム）の形成を図ります。

INNOVATION JAPAN × 広島



イノベーターズ 100 広島



■イノベーション・ハブ・ひろしま Camps での取組（イメージ）

(2)「国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり」

「多様な人々が交流し、平和への思いが共有できる空間づくり」に基づく先導的な取組

先導的な取組 6 比治山公園「平和の丘」構想の推進

比治山公園の歴史的・文化的価値や、都心にありながらも緑豊かな自然に触れることができ、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できる立地特性を踏まえて、「国際平和文化都市として復興した広島『今』を実感できる新たな拠点」とするため再整備に取り組みます。



■デルタ市街地の街並みを一望できる展望施設の整備イメージ

先導的な取組 7 平和記念公園における環境整備

● 原爆ドームを望む良好な眺望景観の形成

原爆ドームを貫く南北の軸線を生かした象徴的な景観を将来的にも確保するため、広島市景観計画や条例に高さ制限を規定するなど、景観誘導の充実を図るための方策を検討します。



■平和への思いを共有する場

● 平和記念公園レストハウスの改修

レストハウスを観光資源として効果的に活用するため、爆心地となった中島町の歴史資料を展示するとともに、耐震補強や地下部の保存を行います。

● 平和記念公園の環境改善

平和記念公園内のトイレについて、老朽化への対応やユニバーサルデザイン化を進め、環境改善を図ります。

● 旧中島地区の被爆遺構の活用

旧中島地区が被爆前は市内有数の繁華街であり、そこに市民の日常生活があったことをあらわす遺構の活用について検討します。

「観光都市広島に向けた、地域資源と都心空間の魅力向上」に基づく先導的な取組

先導的な取組 8 外国人旅行者へのホスピタリティの向上

● 訪日外国人旅行者受入環境向上事業(HiroshimaFreeWi-Fi プロジェクト)

無料公衆無線 LAN 環境を用いて観光情報の提供等を行い、外国人観光客の市内周遊を促します。

● モバイル情報サービス「広島P2ウォーカー」

平和記念公園等を訪れる国内外の方が、スマートフォンやタブレット端末等を通じて、その場で平和や観光に関する情報等を入手できるサービスとして、様々なコンテンツを提供します。

● 観光サイン及び案内・誘導サインのリニューアル

平和記念公園を中心に、楕円形の都心における観光サイン及び公共空間の案内・誘導サインの多言語化等、案内表示の充実を図ります。



■ 多言語案内の充実

先導的な取組 9 美しい川づくり

広島駅周辺地区の水辺を「水の都」の玄関口にふさわしい広島の象徴的な空間にするため、河川環境の改善、水上交通との連携、河岸緑地の整備・利活用などに、広島県と広島市が連携して取り組みます。



■ 美しい川づくりの将来イメージ

「市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり」に基づく先導的な取組

先導的な取組 10 エリアマネジメント活動の支援

● エリアマネジメント体制の構築やその活動に対する支援

広島駅周辺地区のエリアマネジメント体制の構築やその自律的な活動を支援するとともに、公共空間を活用した活動が可能な仕組みづくりの検討なども行います。

また、紙屋町・八丁堀地区をはじめ、他の地区においても、エリアマネジメント体制の構築やその活動に対する支援に取り組みます。



■ 地域主体のまちづくり

(3)「世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり」

「歩行者や自転車を優先する交通環境の整備」に基づく先導的な取組

先導的な取組 11 楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備

「楕円形の都心」における東西の二つの核である「広島駅周辺地区」及び「紙屋町・八丁堀地区」、さらに、それらをつなぐ「西国街道を軸とした地区」における、安全で快適な歩行環境の整備計画を取りまとめ、三つの地区の歩行環境改善に一体的に取り組むことにより、楕円形の都心における回遊性の向上とにぎわいの創出を目指します。



● 広島駅周辺地区

「広島駅周辺地区の歩行者ネットワーク計画」を取りまとめ、官民連携による歩行者専用ネットワークや新たな人の流れを周辺に広げる歩行者ネットワークを形成し、それらを分かりやすく案内することにより、地区の回遊性や一体性の強化を図るとともに、当地区のにぎわいを周辺に広げます。

● 紙屋町・八丁堀地区

「紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備計画」を取りまとめ、「車中心の道づくり」から「人中心の道づくり」への転換、「通る道づくり」から「使う道づくり」への転換、「道づくり」から「まちづくり」への転換を図ることにより、都心で暮らす人や来訪者が安心して楽しく回遊できる歩行環境の整備を進めるとともに、まちのにぎわいや魅力の向上を図ります。

※袋町裏通りにおいて、歩きやすく、にぎわいが生まれる道を目指して、地域参画型の道づくりに取り組みます（本事業は、「紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備」における先導的なモデル事業として位置付けています。）。

● 西国街道を軸とした地区

「西国街道を軸としたにぎわいづくり計画」を取りまとめ、かつて城下町の名目抜き通りであった西国街道を、市民との協働で、「広島駅周辺地区」と「紙屋町・八丁堀地区」をつなぐ「新たなにぎわいの軸」として復活させることにより、両地区のにぎわいを都心全体に広げます。

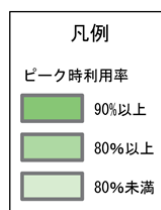
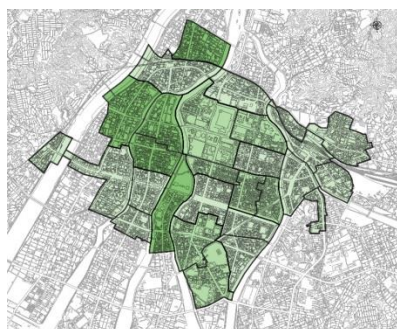
先導的な取組 12 駐輪場・駐車場附置義務の見直し

● 駐輪場附置義務の見直しの検討

自転車・バイクによる通勤利用者や時間帯別の放置台数等の実態調査の結果に基づき、駐輪場附置義務基準の見直しの検討を行います。

● 駐車場附置義務の見直しの検討

駐輪場附置義務の見直しの検討に併せ、広島市の駐車場整備状況や、国の標準駐車場条例の改正（平成 26 年 8 月）による附置義務台数の低減を踏まえ、駐車場附置義務基準の見直しの検討を行います。



■ 駐車場のエリア別需給状況
(駐車場整備地区)

● 隔地駐車場を認める基準の弾力的な運用の検討

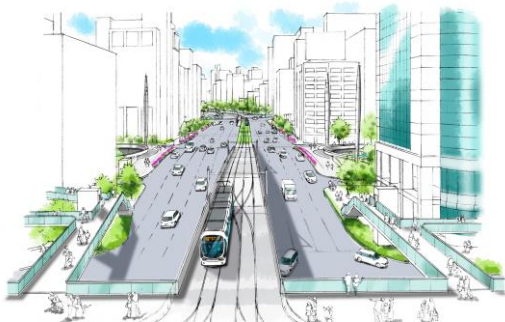
駐車場の附置は、「敷地内に設置すること」を原則としていますが、都心活性化の観点から、隔地駐車場を認めるなど弾力的な運用の検討を行います。

「都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備」に基づく先導的な取組

先導的な取組 13 広島駅南口広場の再整備等

利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図るとともに、広島駅周辺地区で進められている都市機能強化に向けた取組と一体的なまちづくりを推進するため、南口広場へ路面電車を高架で進入させる広場の再整備を行います。あわせて、市内中心部を環状で結ぶ循環ルートを整備します。

広島駅から稲荷町方面



猿猴橋町から広島駅方面



■ 広島駅南口広場の再整備等のイメージ

(4)「安全・安心で快適な都心ライフを支える環境づくり」 「災害に強いまちづくり」に基づく先導的な取組

先導的な取組 14 建築物の耐震性の向上

地震発生時における建築物の倒壊等の被害から市民の生命・身体及び財産を保護するため、「広島市建築物耐震改修促進計画（第2期）」に基づき、不特定多数の者が利用する大規模建築物等を対象に耐震診断経費や耐震改修工事経費に対する補助などを行い、民間建築物の耐震化を促進します。

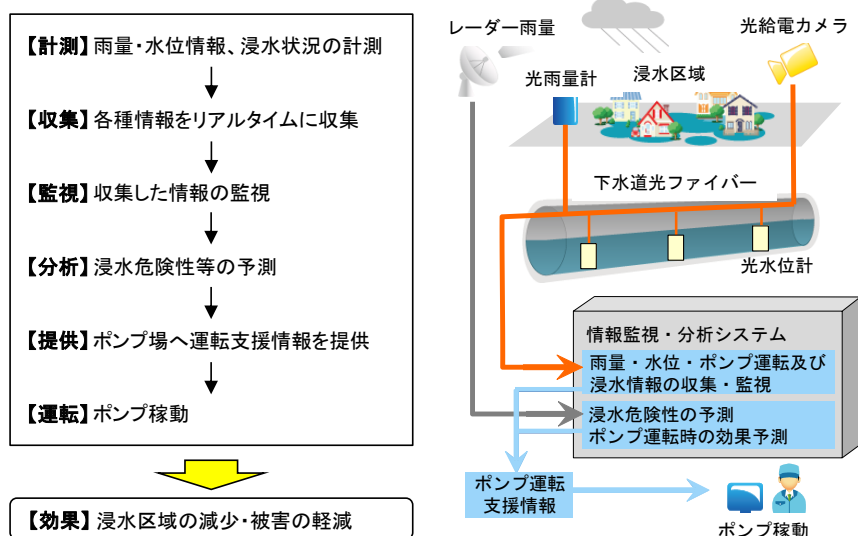
また、公共施設においては、地震災害の発生時に災害対策を円滑に実施するため、災害対応の拠点となる施設や災害時に市民の避難場所となる施設などの耐震化を推進します。



■ 建築物の耐震化

先導的な取組 15 浸水対策の推進

10年に1回程度降る強い雨（1時間降雨量53mm）に対応できるよう、雨水幹線などの整備を進めるとともに、最新のICT（情報伝達技術）を利用して、降雨や浸水状況に即応したポンプ施設の効率的な運用を支援するシステムの実用化に向けた取組を実施するなど、平成30年代に床上・床下浸水を解消することを目標に浸水対策を進めます。



■ ICTを活用した浸水対策施設運用システムの概要

先導的な取組 16 防災まちづくりの推進

● 防災まちづくり基金を活用した地域の防災まちづくり活動に対する支援

平成 26 年 8 月 20 日の豪雨災害以降に広島市にいただいた寄付金をもとに設置した「防災まちづくり基金」を活用し、「わがまち防災マップの作成支援」や「防災リーダーの養成」等、地域の防災まちづくり活動の促進等を図ります。

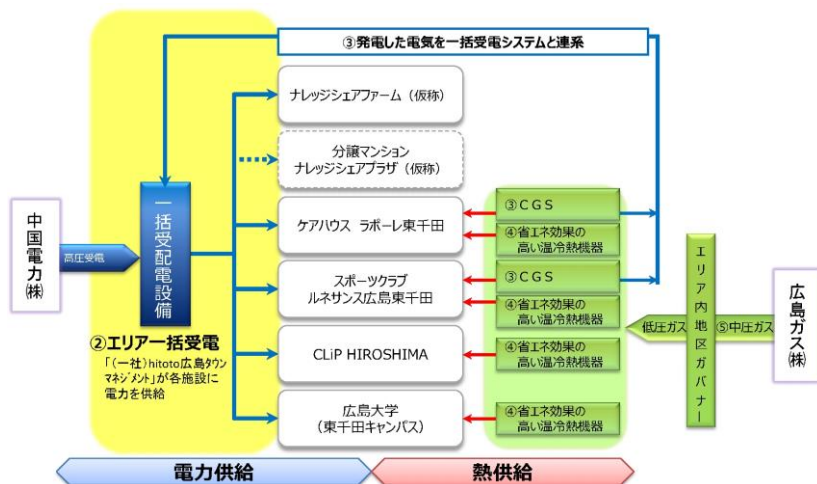


「環境に配慮した低炭素なまちづくり」に基づく先導的な取組

先導的な取組 17 スマートコミュニティの推進

● 革新的な省エネ技術等の導入に対する支援

広島大学本部跡地の再開発における電力の一括受電やエネルギー管理システムの導入等のように、建築物の新築・改築や大規模改修に併せてスマートコミュニティの構築に向けた取組が進むよう、様々な国の補助制度の活用促進を図ります。また、平成 28 年度に「低炭素集合住宅建築補助制度」及び「集合住宅共用部の LED 照明交換補助制度」を創設しており、今後も、スマートコミュニティの導入促進につながる支援策の拡充に努めます。



■ 広島大学本部跡地「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」におけるシステムイメージ

● 市民・事業者への周知啓発等

スマートコミュニティの意義・必要性に対する市民・事業者の理解を深めるため、シンポジウムの開催などスマートコミュニティに係る周知啓発等により、意識改革を積極的に行っていきます。あわせて、事業者のスマートコミュニティ構築への意欲を喚起するため、情報提供や相談等の支援体制を整備します。

2 主な取組一覧

(1) 都心にふさわしく広島顔となる空間づくり

1) 都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化

再開発を促進するための支援【先導的な取組 1】

敷地の共同化等や市街地再開発等によるまちづくりを行おうとする団体等からの相談に対し、アドバイザー等の専門家を派遣する制度を周知し、活用促進を図ります。
また、紙屋町・八丁堀地区など都心における建築物の建替え等を促進するため、土地利用制限の規制緩和や金融支援などが受けられる「都市再生緊急整備地域」制度活用などの検討を行います。

官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用【先導的な取組 2】

広島市と国・県が連携し、官公庁街の土地利用の在り方を検討します。また、官民連携による公有地を活用した取組を検討します。
官公庁街の一部は、都市計画施設「一団地の官公庁施設」の制限（国家機関又は地方公共団体以外の建築物の建築制限）があることから、官公庁施設の更新にあたり、民間活力の活用が可能となるよう、必要に応じて、都市計画の見直しを行います。

都市計画制度を活用した都心部の活性化

都市計画制度を活用し、建築物の建替えなどの民間開発を適切に誘導することで、都心部の活性化を図ります。

景観計画の運用

広島市の目指す「美しく品のある都市景観」を総合的かつ計画的に実現していくための景観形成の方針やルール、方策などを体系的に示す「広島市景観計画」に基づき、景観法に基づく届出制度等を通じた建築物や工作物の形態意匠の規制・誘導を行います。

改正屋外広告物許可基準の運用

景観計画に掲げる屋外広告物に関する基本方針に基づき、新たに設けた屋外広告物の許可基準の運用を通じて、屋外広告物の規制・誘導を充実させます。

景観シンポジウムの開催

景観計画の運用に当たり、良好な景観の形成に向けた市民意識の醸成を図るため、景観に関するシンポジウムを開催します。

デザインに配慮した公共施設の整備

景観計画に定める公共施設の整備方針等に基づき、各施設管理者が景観に配慮した公共施設の整備を行うほか、景観形成上重要な建築物や土木構造物のデザインについて専門家の意見を聴取する「広島市都市デザインアドバイザー会議」における検討などを通じて、デザインに配慮した公共施設の整備を図ります。

二葉の里地区開発の推進

民間主体による計画的な開発の誘導を図り、業務、医療・福祉、都心居住等の機能集積と景観、住環境の両面に配慮したまちづくりを進めます。

魅力ある建築物の創造

魅力ある公共建築物の創造・発信を積極的に推進するとともに、民間建築物への波及を促進するため、魅力ある建築物の発信イベント「ひろしまたてものがたり」の実施やクリエイティブな人材の育成に取り組みます。

2) 都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出

都心の地区計画の見直し【先導的な取組 3】

地区の特性に応じた用途や街並みへと誘導することにより、魅力とにぎわいのある都心空間の形成を図るため、都心の地区計画の在り方について分析・検討を行い、必要に応じて見直しを行います。

公共空間を活用したにぎわいづくり【先導的な取組 4】

- ・中央公園の在り方検討と旧広島市民球場跡地の活用
サッカースタジアムの整備に係る検討状況を見極めつつ、中央公園の在り方検討や旧広島市民球場跡地の活用に向けた取組を行います。
- ・平和大通りのにぎわいづくり
ひろしまドリミネーションにあわせたオープンカフェの設置など、平和大通りを活用したにぎわいづくりを進めます。
- ・紙屋町地下街「シャレオ」のにぎわいづくり
イベント等の実施や魅力的なイルミネーションの装飾等を行い、多くの人が回遊するにぎわいのある空間を創出します。
- ・袋町公園でのオープンカフェの社会実験
公園内での常設のオープンカフェ実施に向け、官民が連携した社会実験の検討を行います。

3) 多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成

イノベーション・エコシステムの構築【先導的な取組 5】

多様な人材、資金、情報等が集積・結合する「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」を開設し、新たなビジネスや地域づくりのアイデアが生まれ、異業種間による新規事業や、ビジネスや地域づくりにおける新たなつながりなどの創出を促すとともに、起業や新事業創出等に向けた機運醸成に取り組み、産学官などが相互につながり、絶え間ないイノベーションが創出される環境（イノベーションエコシステム）の形成を図ります。

ものづくり販路開拓支援

ものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、コーディネーターを配置し、中小企業の新製品・新技術の販売先の開拓やマッチング及びマーケティングのアドバイスを行うとともに、見本市等に出展する際に要する小間料、出展物運送費等の経費の一部を補助します。

新成長ビジネス事業化支援事業

新成長ビジネスに関する新製品・新技術を開発している中小企業が、市場テストや事業化戦略の策定などを行う場合に、その経費の一部を補助するとともに、事業化戦略策定や販路開拓などを支援するため専門家を派遣します。

創業・ベンチャー支援事業

広島市内での創業を考えている起業家や創業して間のない市内の中小企業者に対して、経営アドバイスや融資制度などにより、総合的な支援を行います。

多様な人材の集積を促進する環境の創出

クリエイティブな活動の活性化支援など、イノベーションの原動力となる多様な人材の活躍環境を創出していきます。

イノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積

高度な技術・技能や経営感覚を持ったプロフェッショナル人材などイノベーションを生み出す多彩な人材の育成と集積を推進し、企業の新分野への展開や地域産業の活性化等を図ります。

創業や新事業展開の創出

イノベーション力の強化に注力し、新たなビジネスが絶えず創出される環境づくりと中小企業の新事業展開や生産性の向上を促進します。

多様な投資誘致の促進

企業の本社や研究開発、さらには、ベンチャー企業や地域活力創出型オフィスなど、人、機能、地域活力に着目した誘致のため、助成制度を活用し、多様な投資誘致に取り組みます。

(2) 国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり

1) 多様な人々が交流し、平和への思いが共有できる空間づくり

比治山公園「平和の丘」構想の推進【先導的な取組 6】

比治山公園の歴史的・文化的価値や、都心にありながらも緑豊かな自然に触れることができ、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できる立地特性を踏まえて、「国際平和文化都市として復興した広島『今』を実感できる新たな拠点」とするため再整備に取り組みます。

平和記念公園における環境整備【先導的な取組 7】

- ・原爆ドームを望む良好な眺望景観の形成
原爆ドームを貫く南北の軸線を生かした象徴的な景観を将来的にも確保するため、広島市景観計画や条例に高さ制限を規定するなど、景観誘導の充実を図るための方策を検討します。
- ・平和記念公園レストハウスの改修
レストハウスを観光資源として効果的に活用するため、爆心地となった中島町の歴史資料を展示するとともに、耐震補強や地下部の保存を行います。
- ・平和記念公園の環境改善
平和記念公園内のトイレについて、老朽化への対応やユニバーサルデザイン化を進め、環境改善を図ります。
- ・旧中島地区の被爆遺構の活用
旧中島地区が被爆前は市内有数の繁華街であり、そこに市民の日常生活があったことをあらわす遺構の活用について検討します。

平和記念式典関連事業の開催

平和記念式典の開催に合わせ、次世代を担う青少年による平和のメッセージの発信を中心とした平和文化イベントを開催することにより、被爆の記憶の風化を防ぐとともに、世界恒久平和の実現を願うヒロシマの心を訴えます。

被爆体験伝承者による伝承講話の定時開催

被爆者から被爆体験や平和への思いを受け継ぐ被爆体験伝承者が、平和記念資料館等での定時講話や団体等の依頼に応じた講話を行います。

平和記念資料館再整備事業

開館から60年以上経過している本館建物の耐震化等の改修工事を行うとともに、被爆の実相等をこれまで以上に伝えていくため常設展示の全面的な更新などを行います。

原爆ドーム保存事業等基金の活用による事業展開

広島市原爆ドーム保存事業等基金を活用し、原爆ドームを永久に保存する事業や被爆建物を保存する事業、その他被爆の実相を守り、広め、伝える事業を充実します。

国際平和拠点ひろしま構想の推進

核兵器廃絶の実現に向け、様々な研究・教育機関の連携強化や復興・平和構築に関する研究など被爆の実相を伝えていくことに軸足を置いた事業に、広島県と広島市が連携して取り組みます。

原爆ドームの保存・整備

原爆ドームの永久保存を究極の目標に置き、次の世紀に理想的な姿で確実に継承するための保存の措置に取り組みます。

2) 観光都市広島に向けた、地域資源と都心空間の魅力向上

外国人旅行者へのホスピタリティの向上【先導的な取組 8】
・訪日外国人旅行者受入環境向上事業（Hiroshima Free Wi-Fi プロジェクト） 無料公衆無線LAN環境を用いて観光情報の提供等を行い、外国人観光客の市内周遊を促します。 ・モバイル情報サービス「広島P2ウォーカー」 平和記念公園等を訪れる国内外の方が、スマートフォンやタブレット端末等を通じて、その場で平和や観光に関する情報等を入手できるサービスとして、様々なコンテンツを提供します。 ・観光サイン及び案内・誘導サインのリニューアル 平和記念公園を中心に、楕円形の都心における観光サイン及び公共空間の案内・誘導サインの多言語化等、案内表示の充実を図ります。
美しい川づくり【先導的な取組 9】
広島駅周辺地区の水辺を「水の都」の玄関口にふさわしい広島の象徴的な空間にするため、河川環境の改善、水上交通との連携、河岸緑地の整備・利活用などに、広島県と広島市が連携して取り組みます。
広島デジタルサイネージの推進
シャレオ中央広場、レストハウス等で、サイネージのディスプレイによりイベント情報、観光施設案内、地元産品情報、防災・緊急情報等の様々な情報を、市民や観光客等に提供します。
旧日本銀行広島支店の保存・活用
旧日本銀行広島支店の建物の文化財的価値を維持しつつ、被爆建物という歴史の証人として保存・活用することとし、市民主体の芸術・文化活動の発表の場として活用します。
広島城の二の丸の活用
復元した広島城二の丸の活用の促進を図るため、広島城ゆかりの武家茶道である「上田宗箇流」の茶会及び伝統工芸品の展示会等の実施について検討し、広島城の新たな魅力を創出します。
毛利氏関連の博物館等施設による連携事業
広島城を中心に、毛利氏一族の歴史的ストーリーを広島広域都市圏域内で一体的に展開することにより、圏域の宣伝効果の拡大や観光客の増加を図ります。
広島国際アニメーションフェスティバルの開催
世界4大会の一つに数えられる広島国際アニメーションフェスティバルを開催し、国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術の普及・発展などに寄与します。
外国人観光客のための観光情報提供
外国人観光客が必要とする観光情報を気軽に入手できるとともに、広島滞在時の満足度の向上を図れるよう、国際交流ラウンジにおいて外国人観光客に対する観光情報提供を行います。
ごみのないまちづくりの推進
都心部を徒歩で巡回しながら、清掃や啓発活動を行うとともに、来広者への道案内や観光情報の提供を行い、「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じるような、ごみのない、きれいなまちづくりを推進します。

商店街振興事業補助

商店街が行うにぎわいづくり等のソフト事業や共同施設整備のハード事業に要する経費の一部を補助することにより、商店街の振興を図ります。

広島の特産品のブランド化推進事業

広島の特産品で特に優れたものとして認定された「ザ・広島ブランド」を、全国に向けてPRすることで、知名度をより高めその消費拡大を図るとともに、広島のイメージを向上させ、地域経済の活性化及び誘客の促進を図ります。

いい店ひろしま顕彰事業

店舗演出、接客、ユニバーサルデザイン対応などの基本的な商業機能が優秀と認められ、地域に根つき親しまれている小売店舗を顕彰することにより、小売店舗の改善意欲の喚起及び商業機能のレベルアップを図ります。

「ひろしま通」認定試験

「ひろしま通」認定試験を実施することにより、広島の歴史・文化・自然などを幅広く知り、その魅力を伝えていただく「ひろしまファン」を増やしていきます。

広島城観光振興事業

広島城の堀を活用した和船遊覧船の運航や「安芸ひろしま武将隊」の運営により、広島城を世界遺産原爆ドームや平和公園と並ぶ魅力ある観光資源として活性化させ、観光客の増加を図ります。

MICE受入態勢の充実

広島広域都市圏内の歴史的建造物・文化施設、食、伝統芸能等の地域資源を活用した魅力的なユニークベニュー等の開発により、MICE受入態勢の充実に取り組みます。

ひろしまライトアップ事業（ひろしまドリミネーション）

広島の冬の風物詩であるライトアップを、平和大通りを中心に中心部商店街や商業施設などの市内中心部一帯で展開することにより、観光客や市民が広島の夜の街を散策して楽しめる魅力ある観光スポットを創出します。

ひろしまフラワーフェスティバルの開催

広島最大級のイベント「ひろしまフラワーフェスティバル」を開催し、花と緑と音楽があふれる都市にするとともに、市内中心部のにぎわいを創出します。

広島の祭り・イベントの充実

広島の持つ様々な魅力を生かした祭りやイベントについて、内容を充実させるとともに、効果的にPRすることなどにより、来訪者の増加や地域経済の活性化を目指します。

タクシーおもてなし向上推進事業

観光客と接する機会の多いタクシー乗務員に「タクシーおもてなし観光研修」を実施し、広島を訪れる観光客に対して広島の特色や平和の心を伝えることで地域の魅力を感じてもらい、旅の満足度を高めます。

広島広域都市圏市町と連携した広域観光情報サイトの開発・運用

国内外からの観光需要を拡大させるため、広島広域都市圏域内等の魅力的な観光素材を有機的に結び付けることにより、観光圏としての当エリアの魅力を高め、分かりやすく一体的に発信します。

街角観光案内所

観光客が必要とする様々な情報を街なかで気軽に手に入れやすくし、休憩やトイレなど旅行中の身近なニーズにも可能な限り応えることができる環境づくりを進めることにより、広島滞在時の利便性の向上を図り、「まち」全体でおもてなしの観光を進めます。

平和文化の体験

広島市観光ボランティアガイド協会会員等による平和記念公園の無料ガイドや平和文化イベントガイドの配布により来訪者に平和文化を体験していただき、観光客の増加と平和文化の振興を図ります。

「広島おもてなしパス」の発行

ホテル・旅館等で交通フリーパスを購入した宿泊者を対象に、観光施設や飲食店の割引等が受けられる優待券「広島おもてなしパス（HOP）」を提供することにより、「おもてなし観光」を推進するとともに、広島市内の宿泊施設、観光施設、飲食店等への来場者を増加させ、経済効果の向上を図ります。

「広島とりっ歩（ぶ）」の推進

まち歩き観光ニーズに対応するため、市内のガイド団体等が実施するまち歩きのコースを取りまとめたパンフレットを作成するとともに、情報発信力の強化を支援して、まち歩き観光による個人旅行者等の増加を目指します。

水辺のコンサート

水辺の公共空間で、ミュージシャンやパフォーマーによるコンサート等を開催しやすい環境を整え、水辺のにぎわいづくりを進めます。また、より多くの人に情報を提供することにより、「水の都ひろしま」をPRします。

水辺のオープンカフェ

「水の都ひろしま」の代表的な取組として、全国をリードしている京橋川、元安川の「水辺のオープンカフェ」が更に有力な魅力資源となるよう、その内容を充実させるとともに、うるおいのにぎわいのある水辺空間の創出を図ります。

水辺のライトアップ

オープンカフェが両岸に設置されている京橋川をはじめとした水辺のライトアップを実施し、「水の都ひろしま」の夜間の水辺の魅力を向上させ、多くの市民や観光客が集まる水辺ルートを形成します。

まちなかにぎわいづくり事業

商店街、地域団体、行政等で構成する「まちなかまちづくり連絡会議」を開催し、まちづくりに関する取組や課題等の情報交換、具体的な取組を実施することにより、来訪者を受け入れるためのもてなし活動や地域の魅力を積極的にアピールし、にぎわいを創出します。

砂持加勢まつりの開催

江戸時代末期に開催されていた「砂持加勢まつり」の開催を支援することにより、水の都ひろしまにふさわしい個性豊かで魅力あるまちづくり、地域づくりを促進します。

城下町広島ぶらりプロジェクト

広島をのまちを歩くことで城下町としての歴史・文化に触れ、広島に対する理解と愛着を深めることを目的に制作したまち歩き支援アプリ「城下町広島ぶらり」について、内容の充実を図り、商店街や地域等と連携した活用策について検討し実施します。

二葉の里歴史の散歩道の魅力発信

城下町広島歴史を感じることでできるまちづくりを進めるため、ボランティアと協働で二葉の里歴史の散歩道に広がる歴史・文化資源の魅力を発信し、来訪者の増加を図ります。

3) 花と緑と音楽のあふれる美しいまちづくり**花と緑の広島づくりの推進**

企業等の協賛や市民等の協力を得て維持管理を行う四季の花プランターを設置し、地域における花と緑のまちづくり活動の促進や市民等の気運を醸成することで、花と緑あふれる美しいまちを実現します。

河岸緑地整備

都市環境の改善、都市の防災性の向上、市民の活動や憩いの場の形成、豊かな地域づくりや地域の活性化などに向けて、河岸沿いの空間の整備を進めます。

花と緑あふれるコンサートの開催

広島交響楽団等と連携し、会場を季節の花と緑で彩り、質の高いクラシック音楽を市民に提供する「音楽の花束～広響名曲コンサート」や、花と音楽によって平和への思いを発信する「平和のタペコンサート」を実施します。

4) 市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり**エリアマネジメント活動の支援【先導的な取組 10】**

広島駅周辺地区のエリアマネジメント体制の構築やその自律的な活動を支援するとともに、公共空間を活用した活動が可能な仕組みづくりの検討なども行います。また、紙屋町・八丁堀地区をはじめ、他の地区においても、エリアマネジメント体制の構築やその活動に対する支援に取り組みます。

「うらぶくろ界限まちづくり協議会」への支援

うらぶくろ界限の活性化及び良好な生活環境の創造、安全安心なまちづくりの実現に向けて、袋町公園を活用したオープンカフェ運営や袋町裏通りの空間整備等のまちづくり活動を、市がコンサルタント派遣等により技術的に支援します。

「流川・薬研堀地区の健全で魅力的なまちづくり協議会」によるまちづくり

流川・薬研堀地区が安全でだれもが安心して楽しむことができる健全で魅力的なまちとなるよう、協議会等の構成員が連携・協働し、スピード感をもって、総合的かつ計画的にまちづくりを推進します。

広島駅周辺地区エリアマネジメント体制の構築

広島陸の玄関にふさわしい「まち」として持続的に発展していけるよう、広島駅周辺地区の関係者が連携したエリアマネジメント体制を構築し、ソフト面のまちづくりを促進します。

「基町プロジェクト」の推進

「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指すため、広島市立大学と連携し、創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、基町住宅地区の魅力づくりや活性化を推進します。

「エキキタまちづくり会議」によるまちづくり

二葉の里土地地区画整理事業等によって、まちが大きく変容しているエキキタ（広島駅新幹線口周辺地区）において、ハード面の整備状況の進行に合わせて、地元企業や町内会、行政等が連携し、産学官民が協働したまちづくりを進めます。

(3) 世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり

1) 歩行者や自転車を優先する交通環境の整備

楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備【先導的な取組 1 1】

「楕円形の都心」における東西の二つの核である「広島駅周辺地区」及び「紙屋町・八丁堀地区」、さらに、それらをつなぐ「西国街道を軸とした地区」における、安全で快適な歩行環境の整備計画を取りまとめ、三つの地区の歩行環境改善に一体的に取り組むことにより、楕円形の都心における回遊性の向上とにぎわいの創出を目指します。

・広島駅周辺地区

「広島駅周辺地区の歩行者ネットワーク計画」を取りまとめ、官民連携による歩行者専用ネットワークや新たな人の流れを周辺に広げる歩行者ネットワークを形成し、それらを分かりやすく案内することにより、地区の回遊性や一体性の強化を図るとともに、当地区のにぎわいを周辺に広げます。

・紙屋町・八丁堀地区

「紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備計画」を取りまとめ、「車中心の道づくり」から「人中心の道づくり」への転換、「通る道づくり」から「使う道づくり」への転換、「道づくり」から「まちづくり」への転換を図ることにより、都心で暮らす人や来訪者が安心して楽しく回遊できる歩行環境の整備を進めるとともに、まちのにぎわいや魅力の向上を図ります。

※袋町裏通りにおいて、歩きやすく、にぎわいが生まれる道を目指して、地域参画型の道づくりに取り組みます（本事業は、「紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備」における先導的なモデル事業として位置付けています。）。

・西国街道を軸とした地区

「西国街道を軸としたにぎわいづくり計画」を取りまとめ、かつて城下町の日抜き通りであった西国街道を、市民との協働で、「広島駅周辺地区」と「紙屋町・八丁堀地区」をつなぐ「新たにぎわいの軸」として復活させることにより、両地区のにぎわいを都心全体に広げます。

駐輪場・駐車場附置義務の見直し【先導的な取組 1 2】

・駐輪場附置義務の見直しの検討

自転車・バイクによる通勤利用者や時間帯別の放置台数等の実態調査の結果に基づき、駐輪場附置義務基準の見直しの検討を行います。

・駐車場附置義務の見直しの検討

駐輪場附置義務の見直しの検討に合わせ、広島市の駐車場整備状況や、国の標準駐車場条例の改正（平成 26 年 8 月）による附置義務台数の低減を踏まえ、駐車場附置義務基準の見直しの検討を行います。

・隔地駐車場を認める基準の弾力的な運用の検討

駐車場の附置は、「敷地内に設置すること」を原則としていますが、都心活性化の観点から、隔地駐車場を認めるなど弾力的な運用の検討を行います。

自転車走行空間整備

歩道における歩行者の安全を確保しつつ、車道において自転車が安全で快適に走行できるよう、「車道通行を基本とした自転車ネットワークの形成」を図ります。

民間駐輪場の整備

慢性的な駐輪場不足に対応できるよう、広島市が指定する広幅員の歩道の一部等を占用した民間事業者による路上駐輪場の整備の拡大を検討するとともに、自転車等放置規制区域内等における民有地への駐輪場整備を促進するため、公共の用に供する駐輪場を整備する者に対し、整備に要する経費の一部を補助します。

観光レンタサイクル事業

国内外の観光客等の来街者が観光施設等を快適にめぐることができるよう、環境にやさしく利便性の高い観光レンタサイクルを提供します。

平和大橋歩道橋整備

国内外から平和記念公園を訪れる多くの人々を迎える重要な役割を担っている平和大橋の上流側に歩道橋を整備し、安全で快適な歩行者空間の確保を図るとともに、歩道橋のデザインにおいては、イサム・ノグチ氏がデザインした平和大橋の高欄をはじめ、平和記念公園やその周辺の河岸緑地等との調和に配慮します。

広島市民球場（マツダスタジアム）への歩行者用道路整備

広島駅から広島市民球場（マツダスタジアム）への歩行者用道路を整備し、安全で快適な歩行者空間の確保を図ります。

2) 都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備**広島駅南口広場の再整備等【先導的な取組 13】**

利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図るとともに、広島駅周辺地区で進められている都市機能強化に向けた取組と一体的なまちづくりを推進するため、南口広場へ路面電車を高架で進入させる広場の再整備を行います。あわせて、市内中心部を環状で結ぶ循環ルートを整備します。

広島高速道路の整備

中四国地方の中核都市である広島市の都市機能をより高めるため、広島高速5号線など、都市交通の高速性・定時性を強化する自動車専用道路網を整備します。

広島駅自由通路等整備の推進

都心の東の核である広島駅周辺地区の一層の「活力とにぎわい」を高めるため、広島駅自由通路及びペDESTリアンデッキを整備し、歩行者の回遊性向上を図るとともに広島駅新幹線口広場を整備し、新幹線口の交通混雑の緩和を図ります。

路面電車のLRT化の推進

速達性・快適性・輸送力の向上やバリアフリー化により、利便性を向上させるため、低床路面電車の導入、電停の改良及び電車接近表示装置の高度化などを行います。

新交通西風新都線の事業推進

アストラムラインの延伸（新交通西風新都線）により、デルタ周辺部から都心へのアクセス性を高め、JR山陽本線を介した基幹公共交通の環状型のネットワークを形成します。

3) ユニバーサルデザインの推進

福祉のまちづくりの推進

高齢者や障害者をはじめ、誰もが活動しやすく、安全で快適に生活できる「福祉のまちづくり」を推進するため、本市の新規施設については、「広島市公共施設福祉環境整備要綱」に定める基準により整備するとともに、民間施設については、「広島県福祉のまちづくり条例」に定める基準により指導します。また、本市が管理する既設の施設についても、順次バリアフリー化の改善を進めます。

バリアフリーマップの提供

高齢者や障害者、乳幼児を連れた人など、誰もが気軽に安心して外出できるよう、市内中心部やJR広島駅周辺の、多くの人が利用する公共施設や民間施設のバリアフリー設備の整備状況についての情報を、マップ形式で提供します。

低床低公害バスの導入支援

乗合バス事業者に低床低公害バスの購入費を補助することにより、温室効果ガス排出量を低減させるとともに、バリアフリーを促進します。

道路・街路事業、福祉環境整備事業〔道路〕（歩道の拡幅・段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置等）

歩道の新設、電線共同溝の整備、既設歩道の拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置等を実施します。

(4) 安全・安心で快適な都心ライフを支える環境づくり

1) 災害に強いまちづくり

建築物の耐震性の向上【先導的な取組 14】

地震発生時における建築物の倒壊等の被害から市民の生命・身体及び財産を保護するため、「広島市建築物耐震改修促進計画（第2期）」に基づき、不特定多数の者が利用する大規模建築物等を対象に耐震診断経費や耐震改修工事経費に対する補助などを行い、民間建築物の耐震化を促進します。

また、公共施設においては、地震災害の発生時に災害対策を円滑に実施するため、災害対応の拠点となる施設や災害時に市民の避難場所となる施設などの耐震化を推進します。

浸水対策の推進【先導的な取組 15】

10年に1回程度降る強い雨（1時間降雨量 53mm）に対応できるよう、雨水幹線などの整備を進めるとともに、最新のICT（情報伝達技術）を利用して、降雨や浸水状況に即応したポンプ施設の効率的な運用を支援するシステムの実用化に向けた取組を実施するなど、平成30年代に床上・床下浸水を解消することを目標に浸水対策を進めます。

防災まちづくりの推進【先導的な取組 16】

平成26年8月20日の豪雨災害以降に広島市にいただいた寄付金をもとに設置した「防災まちづくり基金」を活用し、「わがまち防災マップの作成支援」や「防災リーダーの養成」等、地域の防災まちづくり活動の促進等を図ります。

帰宅困難者対策

大規模な地震などの災害が発生し、交通機関が運行を停止した場合に、帰宅困難者が一時的に滞在するための施設や災害時帰宅支援ステーションの活用などにより、主に交通結節点付近で発生する帰宅困難者や徒歩帰宅者を支援します。

大雨浸水対策の推進

「わがまち防災マップ」の町内会等への掲出や携帯用防災マニュアルの地域住民との協働作成・配布により、地域住民の防災意識を高めます。

2) 環境に配慮した低炭素なまちづくり

スマートコミュニティの推進【先導的な取組 17】

- 革新的な省エネ技術等の導入に対する支援
広島大学本部跡地の再開発における電力の一括受電やエネルギー管理システムの導入等のように、建築物の新築・改築や大規模改修に併せてスマートコミュニティの構築に向けた取組が進むよう、様々な国の補助制度の活用促進を図ります。また、平成28年度に「低炭素集合住宅建築補助制度」及び「集合住宅共用部のLED照明交換補助制度」を創設しており、今後も、スマートコミュニティの導入促進につながる支援策の拡充に努めます。
- 市民・事業者への周知啓発等
スマートコミュニティの意義・必要性に対する市民・事業者の理解を深めるため、シンポジウムの開催などスマートコミュニティに係る周知啓発等により、意識改革を積極的に行っていきます。あわせて、事業者のスマートコミュニティ構築への意欲を喚起するため、情報提供や相談等の支援体制を整備します。

「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」の推進

「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、①事業活動環境配慮制度、②自動車環境管理制度、③建築物環境配慮制度、④緑化推進制度、⑤エネルギー環境配慮制度の5つの制度を運用し、地球温暖化対策等の取組を推進します。

地球温暖化防止に向けた周知・啓発活動の推進

環境に配慮したライフスタイルやビジネススタイルへの転換を促進するため、『『環境の日』ひろしま大会』や「ライトダウンキャンペーン」、「ひろしま温暖化ストップ！フェア」など地球温暖化防止に向けた周知・啓発活動を推進します。

民有地緑化推進事業補助

市街地での緑の減少は、ヒートアイランド現象を発生させる要因ともなっており、ひいては、地球温暖化を助長する結果を招いているため、建築物の新築、増築又は改築に伴う緑化施設等の工事費の一部を助成し、市街地の大部分を占める民有地の緑化を促進します。

建築物環境配慮制度

一定規模以上の建築物の新築等をしようとする建築主を対象に、建築物の環境性能評価及び評価結果等を記載した建築物環境計画書の作成・提出を義務付け、市でその概要を公表することにより、建築主の自主的な取組を促し、環境に配慮した建築物の普及を図ります。

マイカー乗るまあいデー

毎月 2、12、22 日をマイカー乗るまあいデーとし、クルマに依存するライフスタイルを見直し、市民一人ひとりが上手なクルマの使い方を考え、実践・体験することを通じて、地球温暖化の防止に貢献する行動の輪を広げていきます。

3) 多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり**町内会への加入促進**

地域活動の母体である町内会への加入率が低下していることから、不動産関係団体等への加入促進への協力を働きかけるとともに、効果的な加入促進策を実施し、地域コミュニティの活性化を図ります。

高齢者地域支え合い事業

様々な地域団体等が行っている見守り活動を基本としながら、地域包括支援センターがコーディネーターとなり、地域全体で高齢者を見守り、支え合う仕組みを構築する「高齢者地域支え合い事業」に取り組みます。

地域高齢者交流サロン運営事業

地域団体（町内会、自治会、地区社会福祉協議会等）が実施する「ふれあい・いきいきサロン」などを活用し、高齢者の誰もが参加でき、介護予防に資する様々な「通いの場」の活性化を図ります。

地域介護予防拠点整備促進事業

高齢者が歩いて通える場所に地域に開かれた住民運営の運動を中心とした介護予防拠点（通いの場）を整備し、誰もが介護予防に取り組める地域づくりを進めます。

認知症カフェ運営事業

認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が気軽に集うことができ、相互交流や専門職による相談・助言等により認知症とその家族の孤立化防止や地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進めます。

常設オープンスペースの運営

常設オープンスペースの運営により、子育て家庭の親とその子どもが、いつでも気軽に集い、自由に相互交流できるとともに、子育てに関する相談などを行う場を提供し、子育てを支援します。

事業所内保育施設の設置の促進

事業所内への保育施設の設置について、積極的に相談に応じ、指導・助言を行い、設置促進を図ります。

冒険遊び場事業

冒険遊び場（プレーパーク）「もとまち自遊ひろば」を開催し、子どもに創造性や社会性、危険回避能力などを身に付けさせるとともに、地域コミュニティの活性化や地域社会全体で子どもを育てる意識を醸成します。

地区計画制度の活用

都市型住宅の立地誘導を図り、良好な都市環境、都市景観の形成と土地の合理的かつ健全な高度利用を図るため、地区計画制度の活用に取り組みます。

基町住宅の再整備

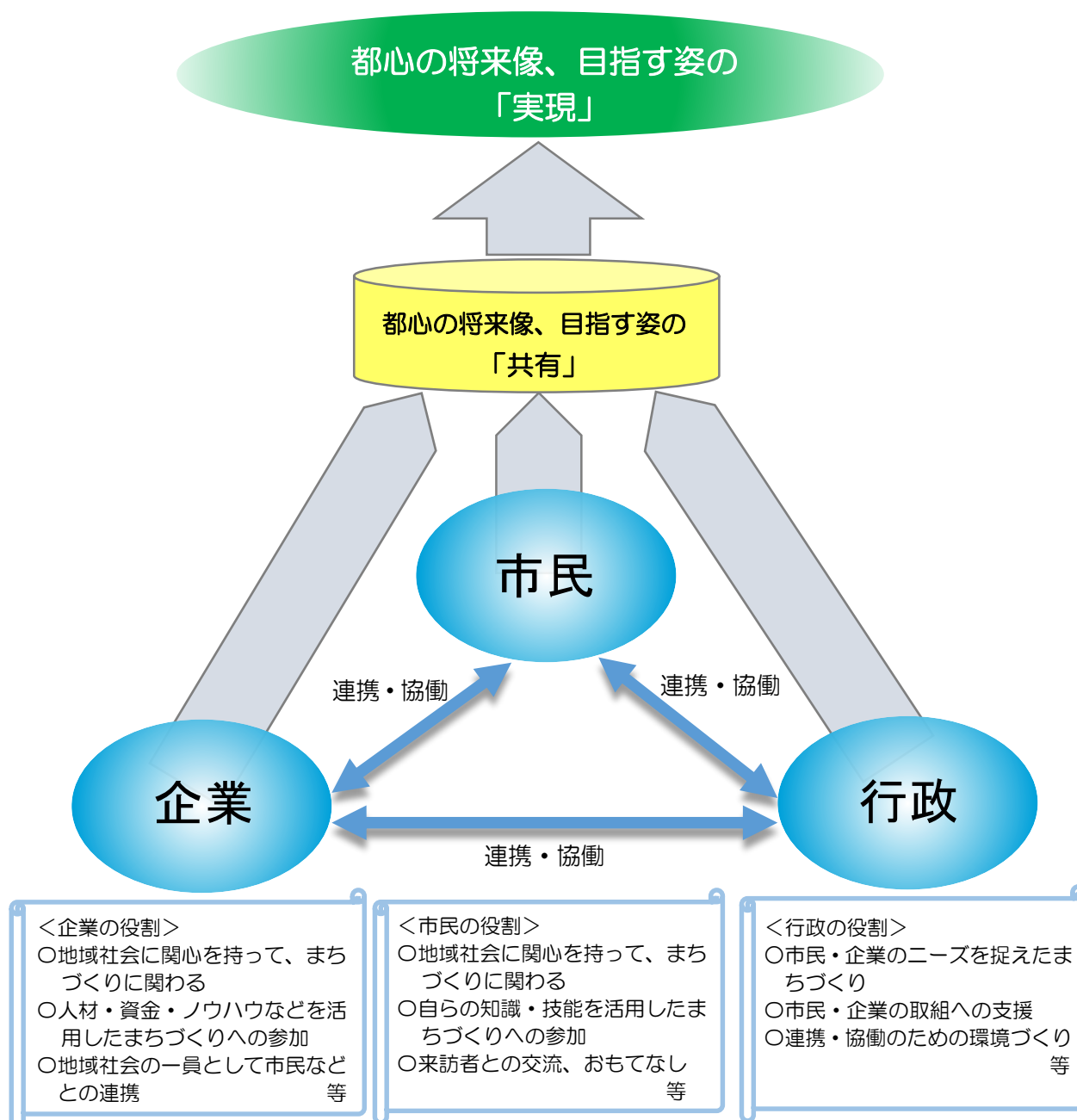
住宅の老朽化に対応するとともに、住戸内のバリアフリー化など居住環境の改善、電気容量の増加や浴槽・給湯器設置などの利便性の向上を図ります。

第6章 都心活性化の推進に向けて

1 実現に向けて留意すべき事項

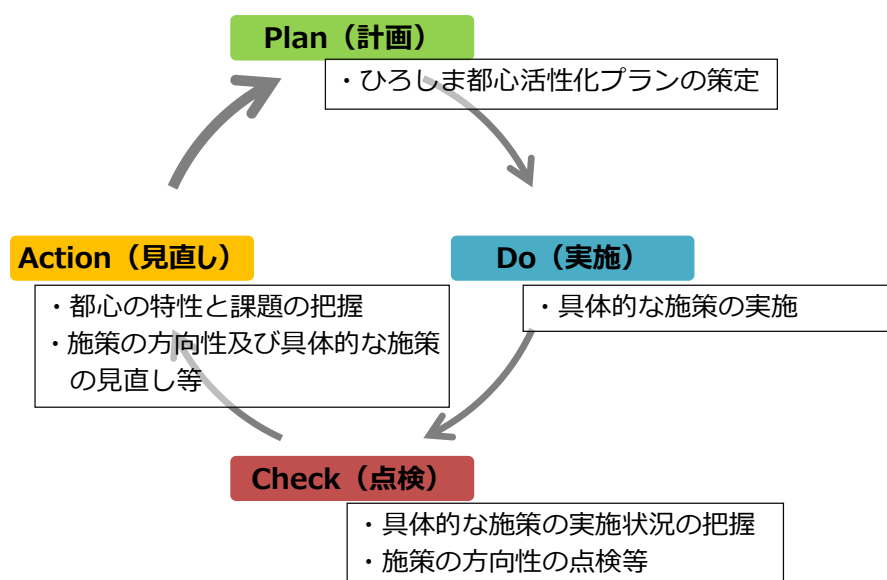
(1) 市民、企業、行政の連携・協働

都心の活性化を進めるためには、市民（町内会などの地縁組織やNPOなどの市民団体を含む。）、企業（経済・産業団体や商店会などを含む。）、行政といった様々な主体が、「自分たちのまちは自分たちで創る」という考えの下に、それぞれの役割を果たしながら、積極的に都心のまちづくりに取り組むことが重要です。まちづくりに関わる様々な主体が、本プランに掲げた都心の将来像、目指す姿を共有し、実現することにより、市域を越えた地域全体に活力とにぎわいを維持・発展させるよう、市民、企業、行政の連携・協働を図ります。



（２）社会情勢の変化等への対応

本プランで掲げた施策の方向性及び具体的な施策は、平成 57 年（2045 年）を目標とする都心の将来像、目指す姿を見据え、平成 42 年（2030 年）に向けて取り組むものです。今後、社会経済情勢の変化等により、地域全体を取り巻く環境が大きく変化することも考えられることから、こうした環境の変化に的確に対応するため、PDCAサイクルの各プロセスを実施しながら、必要に応じて、施策の方向性及び具体的な施策の見直しを検討します。



1 都心活性化プランに関する懇談会

ひろしま都心活性化プランの策定にあたって経済界や有識者等で構成する「都心活性化プランに関する懇談会」を開催し、幅広い意見等をお聴きしました。

(1) 都心活性化プランに関する懇談会の開催状況

開催日及び会場		議 事
第1回	平成27年10月15日(木) メルパルク広島 5階 椿	(1) 座長の選出について (2) 都心活性化プラン(仮称)について (3) 都心における施策の状況について (4) 懇談会の進め方について (5) ワールドカフェ等について
第2回	平成27年12月2日(水) NTTクレドビル11階 ラウンジ	・都心の現状と活性化の視点等について
第3回	平成28年2月9日(火) ホテルグランヴィア広島 3階 天平の間	・都心の将来像等について
第4回	平成28年3月30日(水) ひろしまハイビル21 17階 第1会議室	・都心の将来像等について
第5回	平成28年10月6日(木) ホテルサンルート広島 2階 響の間	(1) 都心の将来像等について (2) 施策の方向性等について
第6回	平成29年1月12日(木) マツダスタジアム 1階 大会議室	・ひろしま都心活性化プラン(素案)について
第7回	平成29年3月29日(水) 広島市総合福祉センター (BIG FRONT ひろしま) 5階 大会議室	・ひろしま都心活性化プランの策定について

(2) 都心活性化プランに関する懇談会委員

区分	氏名	役 職	摘 要
座長	塚本 俊明	広島大学産学・地域連携センター教授	
委員	伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授	
委員	小谷 新	株式会社広島銀行公務営業部長	第1回～第4回
委員	熊野 達朗	同上	第5回～第7回
委員	佐藤 緑	株式会社ハーストリープラス代表取締役	
委員	下村 純一	広島市商店街連合会会長	
委員	谷村 武士	広島商工会議所専務理事兼事務局長	
委員	野原 卓	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 准教授	
委員	平尾 順平	NPO法人ひろしまジン大学代表理事	
委員	藤波 匠	株式会社日本総合研究所調査部 上席主任研究員	
委員	山田 知子	比治山大学現代文化学部 マスコミュニケーション学科教授	
委員	野田 勝	国土交通省中国地方整備局企画部長	第1回～第4回
委員	吉田 敏晴	同上	第5回～第7回

(順不同、敬称略)

2 都心のまちづくりに対する県民・市民の意見

(1) 都心のまちづくり“ひろしまワールドカフェ” みんなで話そう ～だえんの未来～

□開催概要

日時	平成27年11月29日(日) 13:00～17:00
会場	広島国際会議場「ヒマワリ」(広島市中区中島町1番5号平和記念公園内)
主催	広島県、広島市
プログラム	1. 基調講演 演題：官民連携のまちづくり～エリアマネジメント～「都心部における拠点間連携を視野に入れて」 講演者：小林 重敬 横浜国立大学名誉教授 2. トークセッション テーマ：広島っていいな、と思った体験や思い出。魅力的な都心とは。 パネリスト：野村 謙二郎 前広島東洋カープ監督 松本 裕見子 タレント 湯 崎 英 彦 広島県知事 松 井 一 寛 広島市長 コーディネーター：山田 知子 比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科教授 コメンテーター：小林 重敬 横浜国立大学名誉教授 3. ワールドカフェ テーマ：(1) あなたにとって広島の都心の魅力は何ですか。 (2) 未来の広島の都心は、どうなっていてほしいですか。 ファシリテーター：平尾 順平 NPO法人ひろしまシン大学代表理事
参加人数	シンポジウム(基調講演・トークセッション)：256名 ワールドカフェ(トークセッション・ワールドカフェ)：111名



□ワールドカフェでの主な意見

カテゴリ	広島都心の未来には、これが最も必要！！
ビジョン	広島をこうしたい！！という明確なビジョン
	求心力になるビジョン
	明確なビジョン
	明確なテーマを決めること
	明確なゴールの設定
	ストーリー
	最も重要なモノ、違うカラーの連続性のストーリー
	次⇒次⇒次
川（水辺）を活かしたまち	水辺で楽しめるお祭り
	6つの川の両サイドに20m間で本格的な街路灯を。6つの川こそNo.1の観光目玉
	川を活かした街づくり
	川
	川と緑をいかしたにぎわいスポット
芸術・文化・スポーツのまち	ソフトの充実（コンサート・美術）
	Creative Center Hiroshima Koubou. Made in Hiroshima
	宮島、平和公園に続く観光地（美術館など）
	スポーツを活かした
	SUP（スタンドアップパドルボード）
平和のまち	旧広島市民球場にサッカースタジアムを
	平和を考える時間と場所
	平和
	平和などをビジネスに！
広島ならではの個性と魅力	平和でゆったりスローライフ
	他の町にない個性的なまちづくり（アンデルセン、マツダ、サンフレッチェ）
	緑、商業施設、アート…もっとレベルupを！！
	人（自分たちのまちは自分たちでつくる）、モノ（観光資源、歴史的なたてもの）、お金（魅力的なものをつくっていくための）
	広島らしさ
	シンボル。横断的につなぐもの
	資源の「再」発掘＝人（地元）・時間（夜）・都市（川）
	赤いタクシー（cab）とモミジ
	突き抜けたおもしろさ。クオリティ（景観）例：屋台風路面電車
	食とリピーター
	今の「らしさ」
	統一されたいろ（らしさ）（平和・宮島以外）
	便利さ
	“自由”と“自然”

カテゴリ	広島都心の未来には、これが最も必要！！
まちの魅力の 発見と発信	広島の魅力アップと発信
	世界に開かれたまちづくり
	外から見つめる視点（市民以外）
	周り（市外、県外、海外）から見た広島魅力を自覚する
	まちのみんなが興味・熱を持つような発信が大事だと思う
	市民の自分が自慢できる“コレ”を語れる
	他県民と話して、広島魅力をもっと知る！！
	広島の人々が広島を好きになること
	自信！！
	光
魅力ある 都市空間づくり	市民球場。原点回帰
	市民球場跡地と中央公園の有効活用
	旧市民球場跡地を屋根つき施設にする。
	地下都市が必要！！
	空間の有効活用
	小泉
人が 楽しく集える場所	子どもからじいちゃんばあちゃんまでみんなが（いろんな意味で）集える場所
	新しい待ち合わせ場所
	人がたくさん集まることができる場所
	「楽しいからもっと居たい広島」
	赤とか、道とか、イベントとか人がつながる！
	ワクワクする都市環境
	そうだ！！一度外に出てみよう
	常時イベント
	イベント
	楽しさ
徒歩、自転車で 回遊できるまち	歩行者天国
	歩ける都心のにぎわいづくり（車の乗入排除）。トランジットモール化。
	市民が歩いて、一日を楽しめる仕掛け（ストーリー）をつくる
	子供もお年寄りも観光客も歩いて楽しめる特色のあるまち
	Artとデザイン。少々強引でも整理しよう。→広島駅と紙屋町・八丁堀をつなぐアクセスにアートを設置。作品を楽しみながら、散歩できる街づくり
	広島駅と紙屋町を結ぶにぎわい道路（通路）
	自転車道の整備
	自転車中心のまちづくり（交通安全ルール、レンタサイクル、駐輪場、専用道路）
	自由な移動
	人の流れ
	回遊する仕組み
	案内
	街灯
	社会生活のルール 例：自転車のマナー

カテゴリ	広島之都心の未来には、これが最も必要！！
暮らしやすいまち	子育てをココでしたいと思われる都市→自然との調和、歴史との調和、文化との調和、デジタルとの調和、世界との調和
	スポーツや自然を楽しめる、人間らしい健康な暮らしができるまち
	住みよい場所に子供がずっと住んでいく
「ひと」の力と魅力	物よりも先に善き人に。善！ヒト！
	人と教育
	人が魅力的なの大事
	ヒトの力。やさしさ、思いやり、親切な気持ち
	ヒトの力、つながり、やさしさ、親切（思いやり）
	人とつながりが持てる場
	ヒト
	元気な人がたくさん
	人と人とのつながり。やさしさ、思いやり、親切な気持ち
	人のやさしさ、おもいやり、親切にする気持ち
	人々（ひとびと、tourist）“自由都市”
	強いリーダー
参加と協働	人口
	良くしていきたいと熱意のある人が語る機会。今日みたいに！！
	広島都心の未来には平和都市広島を語れる「市民のおしゃべり」が必要
	まちづくりを話す場所（住民参加みんなで話せる拠点をつくる）
	広島の良いさを話す機会をつづけていく
	一人一人が夢を行動に移すこと
	主体性
	協働参画
	市民のアイデア
	都心のエリアマネジメント団体→民間主導でいますぐ起こそう！「だえんの未来」協議会。幹事会社はカーブ

(2) まちづくり交流サロン「都心のまちづくりをみんなで考えよう！」

□開催概要

日時	平成28年5月28日(土) 10:00~12:30
会場	広島市役所2階講堂
主催	広島県、広島市
プログラム	1. 都心活性化プラン(仮称)の検討状況について 都心活性化プラン(仮称)の策定趣旨、現時点の都心の将来像(案)及び目指す姿(案)を説明するとともに、これまでの広島市の都心における特徴的な取組、パリなど世界の魅力的な都心を紹介。 2. 意見交換会 ア ファシリテーター:NPO法人ひろしまシン大学代表理事 平尾 順平 氏 イ 概要 都心活性化プラン(仮称)策定の参考とするため、都心の目指す姿の実現に当たり必要な取組や取り組んでいく上での課題等について、4つのグループに分かれ、エリア別に参加者同士の意見交換会を実施。 ※各グループが検討したプロジェクトは次ページのとおり。
参加人数	都心部でまちづくり活動をしている市民、事業者等28名

□各グループが検討したプロジェクト

エリア	No	名称	概要
白島・基町～紙屋町・八丁堀	1	回遊性向上プロジェクト	新たな交通結節点である新白島駅と、平和記念公園の間の魅力ある豊富な地域資源を、コンセプト、テーマを持って線でつなぐことで、新たな歩行者の流れを創出する。
紙屋町・八丁堀～平和大通り・大手町	2	ほこ天プロジェクト	カフェや飲食店の席が道路にせり出すようなにぎわいづくりができるよう、規制緩和を行う。
	3	中央公園の活用プロジェクト	中央公園にお店やカフェを設けるなど、人が集まれる場所をつくる。
	4	日本中から人が来るお店を増やすプロジェクト	どこにあっても行列ができる人気なお店を増やす。
	5	平和公園周辺をゆったりくつろげる場所にするプロジェクト	平和公園を訪れる多くの外国人を、もっと紙屋町方面に誘導できるよう、外国人向けの案内所や、外国人がくつろぎやすい川辺のカフェ等憩える場所をつくる。
	6	もっと緑をたくさん増やすプロジェクト	平和公園周辺の河岸緑地、紙屋町や平和大通りなど、建築とも調和したさわやかな緑をもっと増やす。
	7	日陰をつくるプロジェクト	オフィス街であり、夏に日陰がない県庁周辺に、木を増やして日陰を増やす。
	8	魅力的な建物を増やし、美しい街にするプロジェクト	平和記念公園周辺は、平和のメッカとして世界から人が集まる場所なので、統一のイメージを持って、来た人が魅力を感じる場所となるよう、魅力的な建物を増やす。
	9	ビルのセットバックで統一感のある街にするプロジェクト	道路で憩う場や、歩道スペースを確保するとともに、統一感のある街になるよう、ビルのセットバックを促す。
エキキタ～駅南・京橋	10	公共区間、公開空地を活用したまちづくりプロジェクト	公共空間、公開空地をまちづくりに活用し、にぎわいを創出する。
	11	山陽本線高架化プロジェクト	山陽本線を高架化し、開かずの踏切による分断を解消し、回遊性を高める。
	12	歩く安全空間プロジェクト	再開発を連ねるベデネットワークを設置するなど、歩く安全空間を整備する。
	13	身体障害者の歩行環境改善プロジェクト	身体障害者の歩行環境改善のための道路整備、ルールづくりを行う。
駅南・京橋～段原・比治山	14	物怪行列日本版ハロウィンプロジェクト	緑豊かで、多くの文化施設を抱え、広島駅に近いという恵まれた立地でもある比治山に、多くの人が回遊するよう、物怪神社とも言われる稲生神社やパワースポットである比治山神社をつなぐ、ストーリー性のある回遊コースを作成する。
	15	子どもと家族と緑プロジェクト	都心における豊かな緑である比治山に、動物園・植物園・昆虫館の共用サテライト施設を設けて魅力を集約し、それぞれの魅力をまとめて楽しんでもらう。

4 都心活性化に向けた行程表

今後、被爆 100 周年である平成 57 年(2045 年)を目標年次とする「都心の将来像」と「目指す姿」が実現できるよう、以下の行程表を参考にしながら、概ね 15 年後の平成 42 年(2030 年)に向けて、都心の活性化を着実に進めていきます。

基本方針 1 都心にふさわしく広島顔となる空間づくり		
施策の方向性		①都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化 ②都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出 ③多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成
先導的な取組		平成32年(2020年)まで 平成42年(2030年)まで
1	再開発を促進するための支援	まちづくりに関する専門家派遣による支援
		促進策の検討 → 老朽建築物の建替の促進
2	官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用	土地利用の在り方検討と その検討結果を踏まえた取組の実施
3	都心の地区計画の見直し	地区計画の在り方検討 → 必要に応じて地区計画の見直し
4	公共空間を活用したにぎわいづくり	
	中央公園の在り方検討と 旧広島市民球場跡地の活用	中央公園の在り方検討 → 検討結果を踏まえた取組の実施 旧広島市民球場跡地の活用に向けた取組の実施
	平和大通りのにぎわいづくり	社会実験の実施 → 新たなにぎわいづくり事業の実施
	紙屋町地下街「シャレオ」の にぎわいづくり	道路占用許可基準の見直し → イベントの活用、こちよさの提供など 多くの人が回遊するにぎわいの地下空間の創出
	袋町公園でのオープンカフェの 社会実験	社会実験の検討・実施 → 社会実験結果を踏まえ、 常設のオープンカフェの検討・実施
5	イノベーション・エコシステムの構築	産学金官の強固なパートナーシップのもと、 新しい事業展開が次々と生まれる環境の構築

基本方針2 国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり

施策の方向性	④多様な人々が交流し、平和への思いが共有できる空間づくり ⑤観光都市広島に向けた、地域資源と都心空間の魅力向上 ⑥花と緑と音楽のあふれる美しいまちづくり ⑦市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり
--------	---

先導的な取組		平成32年(2020年) まで	平成42年(2030年) まで
6	比治山公園「平和の丘」構想の推進	公園の新たな 魅力を創出する施設の整備	放射線影響研究所 移転後の敷地活用
7	平和記念公園における環境整備		
	原爆ドームを望む良好な 眺望景観の形成	景観誘導 方策の検討	景観誘導による良好な眺望景観の確保
	平和記念公園レストハウスの改修	耐震補強等 工事	平和記念公園の新たなシンボル施設として活用
	平和記念公園の環境改善	公園内の トイレの建替え	平和記念公園の環境改善
	旧中島地区の被爆遺構の活用	活用方策の検討	被爆遺構の活用
8	外国人旅行者への ホスピタリティの向上		
	訪日外国人旅行者受入環境向上事業 (HiroshimaFreeWi-Fiプロジェクト)	近隣市町を含めたサービス提供エリアの拡大 観光情報などコンテンツの充実	
	モバイル情報サービス 「広島P2ウォーカー」	観光情報などコンテンツの充実	
	観光サイン及び案内・誘導サインの リニューアル	サインの多言語化等、案内表示の充実	
		広告付きサイン の実証実験	民間活力を導入した観光サイン等の充実
9	美しい川づくり	河川環境の改善、水上交通との連携、 河岸緑地の整備・利活用など	水の都の象徴的な空間の形成
10	エリアマネジメント活動の支援	組織の設立 (広島駅周辺地区)	組織による自律的な活動
		紙屋町・八丁堀地区をはじめ、他の地区の エリアマネジメント体制の構築やその活動に対する支援	

基本方針3 世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり

施策の方向性		⑧歩行者や自転車を優先する交通環境の整備 ⑨都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備 ⑩ユニバーサルデザインの推進	
先導的な取組		平成32年(2020年)まで	平成42年(2030年)まで
11	楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備		
	広島駅周辺地区	歩行者ネットワーク計画の策定	計画に基づく取組の実施
	紙屋町・八丁堀地区	歩行環境整備計画の策定	計画に基づく取組の実施
	西国街道を軸とした地区	にぎわいづくり計画の策定	計画に基づく取組の実施
12	駐輪場・駐車場附置義務の見直し	附置義務等の見直しの検討	利用しやすい駐輪場の確保 放置自転車の解消
13	広島駅南口広場の再整備等	広場の再整備 駅前大橋ルートや循環ルートの整備	利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成

基本方針4 安全・安心で快適な都心ライフを支える環境づくり

施策の方向性		⑪災害に強いまちづくり ⑫環境に配慮した低炭素なまちづくり ⑬多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり	
先導的な取組		平成32年(2020年)まで	平成42年(2030年)まで
14	建築物の耐震性の向上	広島市建築物耐震改修促進計画(第2期)に基づき民間建築物の耐震化を促進	次期耐震改修促進計画に基づく取組の実施
		防災拠点となる市有建築物の耐震化	その他の市有建築物の耐震化
15	浸水対策の推進	雨水幹線などの整備、ICTを活用した浸水対策施設運用システムの実用化に向けた取組	床上・床下浸水の解消
16	防災まちづくりの推進	わがまち防災マップの作成支援など	地域の防災まちづくり活動に対する支援
17	スマートコミュニティの推進	市民・事業者への周知啓発やスマートコミュニティの構築に向けた支援策の拡充などによるスマートコミュニティの導入促進	

ひろしま都心活性化プラン 写真等著作権リスト

章	頁	写真等名称	著作権
第2章	P11	オフィス空室率・新規需要・新規供給	シービーアールイー株式会社
第3章	P20	「広島陸の玄関ゾーン」のイメージ	広島テレビ放送株式会社
第3章	P21	「ボールパークゾーン」のイメージ	株式会社広島東洋カープ
第3章	P21	「都心居住ゾーン」のイメージ	三菱地所レジデンス株式会社
第4章	P26	陸の玄関である広島駅周辺（右側）	広島テレビ放送株式会社
第4章	P27	魅力的なビジネス環境（イメージ）	シービーアールイー株式会社
第4章	P30	エリアマネジメントのイメージ	国土交通省
第4章	P32	低床路面電車	広島電鉄株式会社
第4章	P33	低炭素なまちづくりのイメージ	環境省
第4章	P34	京橋町地区第一種市街地再開発事業	合同会社広島京橋開発企業体
第5章	P43	「防災マップ」のイメージ	Pepero
第5章	P43	広島大学本部跡地「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」におけるシステムイメージ	三菱地所レジデンス株式会社

上記以外の図版写真等の著作権は広島県又は広島市に属します。

名 称	ひろしま都心活性化プラン
登 録 番 号	広K0-2016-502
主 管 課 所 在 地	広島県地域政策局都市圏魅力づくり推進課 〒730-8511 広島市中区基町 10 番 52 号 TEL 082-513-2566 広島市都市整備局都市機能調整部 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号 TEL 082-504-2758
発 行 年 月	平成 29 年（2017 年）3 月
印刷会社名	鯉城印刷株式会社

 広島県  広島市